

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和6年3月13日

産 業 環 境 委 員 会

速 報 版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午前9時58分開会

○くぼた美幸委員長 それでは、おはようございます。皆さんおそろいですので、ただいまより産業環境委員会を開会いたします。

————— ◇ —————

○くぼた美幸委員長 初めに、記録署名員の指名を私から申し上げます。吉岡委員、水野委員、よろしく願いいたします。

————— ◇ —————

○くぼた美幸委員長 次に、議案の審査に移ります。

(1) 第16号議案 足立区経済活性化基本条例の一部を改正する条例を単独議題といたします。それでは、執行機関の説明を求めます。

○産業経済部長 おはようございます。それでは、産業環境委員会議案説明資料の表紙を1枚おめくりいただきまして、2ページをお開きください。

件名でございます。足立区経済活性化基本条例の一部を改正する条例です。所管部課名は記載のとおりです。

目的でございますが、附属機関である足立区経済活性化会議、こちらの委員に区議会議員の皆様に加わっていただきまして、より幅広く意見を得たいというふうなことで、条例案を提出したものでございます。

2番、改正の内容でございますが、第9条の3項に、区議会議員という文言を入れるというふうな案でございます。

3番、委員構成でございますが、区議会議員の皆様には、3名というふうなところで、我々、想定をしているところでございます。

新旧対照表は3ページのとおり、施行予定年月

日は3月28日を想定してございます。

方針でございますが、本議案が可決された際には、規則の改正によりまして、委員構成、そういったものを規定してまいる、そのように考えております。

私からは以上です。

○くぼた美幸委員長 何か質疑はございますか。

○山中ちえ子委員 今回、議員が入るということで、条例改正となったための議案だと思うのですが、幅広く意見が出されて、経済産業活性化が図られることが目的となっていると思います。

積極的に公募委員なども採用してほしいと思いますけれども、その辺はどうでしょうか。

○産業政策課長 公募委員につきましては、実は私どもも検討させていただきたいというふうに思っております。特に若い方の御意見をというふうにご覧いただいております。

○山中ちえ子委員 様々な施策にジェンダーの視点が入っていくということ、SDGsでも言われているという、目標の中にも入っています。男女の比率が、やはりネックになると思うのですが、今の状況の男女比率を教えてください。

○産業政策課長 今回の男女比率につきましては23%と高い状況ではない状況でございますが、今後、団体の長という形になりますと、なかなか女性が少ないところでございます。団体の長に限らず、女性の委員を推薦などというところは、今後も努力をまいりたいと考えてございます。

○市川おさと委員 この話は、要するに、附属機関ですよね。附属機関だから、区長部局ということの理解でよろしいでしょうか。

○産業政策課長 市川委員御指摘のとおりでございます。

○市川おさと委員 区長部局に区議会議員が入ると

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

というのは、そういう例は幾つもあるわけでありまして、当たり前の話のようにも聞こえるのですが、今までなくて特に問題もなかったのかなというふうにも思うのだけれども、あえて今回、区議会議員を入れたということを改めて、その経緯を含めて、ちょっと丁寧に教えてくださいか。

- 産業政策課長 この委員会でも、前委員会、前員の方から、区議会議員をというような御要望もいただいているところも当然ございますけれども、今回、この附属機関のメインの検討事項が、経済活性化基本計画の見直しでございます。令和7年度からの見直し、その前の議論、本格化する前に議員の方々に是非入っていただきたいというところが経緯でございます。
- 市川おさと委員 是非入っていただきたいということだけでも、3人だよ。こういった議会は議会として、常任委員会があって、その区長部局から出てきたものに対して、何でも言えるわけですよ。そういったところに、区議会があえて入る必要というのは、どの程度あるのかなということをもうちょっとちゃんと丁寧に話してくれますか。
- 産業政策課長 区議会議員の方々は、当然のことながら、この委員でも様々な知見から御意見をいただいているところでございます。各地域の意見を吸い上げていただいて、是非、経済活性化計画の方に反映していただきたいというふうに考えているところでございます。
- 市川おさと委員 委員長、言い方が弱い、それじゃ。
- 副区長 この委員会以外にも、審議会では、今、区議会議員の方々にたくさん今入っていただいています。というのは、議論が、ある程度固定する前に、やはり広くいろいろな方の御意見をお聞きする必要があるということで、区議会議員の方と

か、当然公募ですとか、そういったところの情報収集でまとめていきたいということで、ほかの審議会も今、入っていただいています。

- 市川おさと委員 私もこの世界、20年かもう6期目になりまして、自分自身もこの附属機関に入って、何か物を言ったということも随分あります。その上であえて言いますけれども、やはりそのことが、何か執行機関の皆さんに言わせると、議会のお墨付きというのかな、議会の承認を得たようなそういう含みを持たせてしまっているのかなという思いも持っているところであります。

今回の活性化会議は、私も議事録を読みましたが、本当に地域の立派な社長さんたちの話を、本当に出てくる、すごく活発ないい会議体だなというふうに思っているのですよ。今回の報告事項の中にも、そこを踏まえた改正の話もちょっと出ているわけでありましてけれども、そうした中で、区議会議員をあえて今から入れるということが、ちょっと今、副区長の話も聞きましたけれども、どの程度効果があるのかなというのは、もうちょっと丁寧に説明してもらいたいな。このペーパー1枚出されて、前回、前委員会ですか、前委員会で、そういう話もあったという話もあったのですけれども、もうちょっと区議会議員でなければいけないのだという、そういう熱い思いを聞きたいなというふうに思うのですけれども、改めて、部長でも、副区長でもいかがですか。

- 産業経済部長 私、10年ぐらい前、産業振興課長をやっております、そのときに、経済活性化会議の方にも出席しておりました。以前は、本当に30人という大所帯で、ほとんど執行機関からの報告で、それを聞いてよしとするというふうな感じの会議でしたので、それを人数を絞ったことによりまして、今は、市川委員がおっしゃられたような活発な御意見が出されるようになりました。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

議員の皆様を入れることによりまして、それが更に活性化するというふうに考えております。

そもそも議会と執行機関、車の両輪というふうなところがございますので、そういった点でも、皆様の意見を聞きながら、何度も会議を開催して、新しい計画を練り上げていきたい、それが区の産業振興に必要なことだと思ひまして、これを出させていただいた次第、よろしく申し上げます。

○市川おさと委員 分かりました。私も、これ以上ちょっと絡むつもりもないので、今、産業経済部長から、確かにそうなのだろうと、腹に落ちるような形で、私も説明、確かに承りました。

今の活発な本当に議論が行われている、その在り方というものが、より一層、盛んになってもらえればいいなということを要望いたしまして、私の質疑を終えます。

○富田けんたろう委員 1点だけ。今回、区議会議員3名にした、幅広い御意見をということだとは思いますが、定数3名にした根拠とか背景があれば、その点を教えてください。

○産業政策課長 他の審議会の人数も見せていただいて、そちらの方で案を出させていただいたという経緯でございます。

○富田けんたろう委員 総体的に数を決められたということだと思っておりますが、是非、今、市川委員からお話がありまして、本当に活性化していただきたいというふうに思います。なぜなら、3名だと、どうしても、これは議会の事情ではありませんけれども、少数会派だと、はっきり言って入りたくても入れないのです。特に少数会派に関しては、ですから、是非活性化をお願いしたいというふうに思います。

○くぼた美幸委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○くぼた美幸委員長 よろしいですか。

各会派からの意見を求めます。

○杉本ゆう委員 賛成です。

○水野あゆみ委員 私も必要なことだと思っておりますので、賛成でお願いします。

○山中ちえ子委員 より経済産業活性化が図られることを目的としているわけですので、是非活発な議論というところで、重視してほしいと、賛成でお願いします。

○富田けんたろう委員 賛成でお願いします。

○市川おさと委員 賛成です。

○くぼた美幸委員長 それでは、これより採決をいたします。

本件は、原案のとおり可決すべきものとするに御異議ありませんか。

〔異議なし〕

○くぼた美幸委員長 御異議ないと認め、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下の審査に直接担当でない執行機関の退席を認めます。

〔執行機関一部退席〕

————— ◇ —————

○くぼた美幸委員長 次に、陳情の審査を議題といたします。

(1) 5受理番号7 インボイス制度導入に際し、足立区シルバー人材センターが会員への分配金から消費税分を減額しなくて済むように、足立区として援助を求める陳情を単独議題といたします。

前回は継続審査であります。

執行機関、何か変化はありますか。

○企業経営支援課長 1月の委員会で、山中委員より、会員からインボイスの取扱いについて意見が上がっていると思うが、そのことの報告がないと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

の御発言がございましたので、この点について御報告させていただきます。

シルバー人材センターに対して、11月末頃に、1名の会員さんから、インボイス制度の取扱いに関しておかしいのではないかと趣旨のお手紙を頂き、12月上旬に、シルバー人材センターの事務局長が、対面でお話をお伺いしております。

また、再度同じ方から、1月末に、お手紙を頂き、2月上旬に、もう1名加えた2名の方との面談の場を設け、お話をお伺いしている状況です。

このほか特設シルバー人材センターにおけるインボイスの取扱いに関して、御意見、出ていない状況とのことで報告を受けておりますので、御報告させていただきました。

○くぼた美幸委員長 それでは、何か質疑ありますか。

○山中ちえ子委員 先ほど、前回の委員会での答弁がなかった部分をお知らせいただきました。是非、そういう話も、きちんとここには参加できないわけですから、事務局長とかは。だから、そういった話をしっかり申し合わせてというか、どうしていこうかといった話も、ちゃんと議論して行ってほしいのです。であれば、自然に、ここで報告という話にもなると思いますので。

会員への配当金から消費税分を減額しなくても済むように、区の支援を求める陳情なのですけれども、区はこれはやらないという方針で、単価を上げていくと。会員の技術力を上げると言いますが、単価を上げる件については、そもそもこれまで、ほかの区と比較して単価があり得ないほど低いというような会員からの指摘というのありましたか。

○企業経営支援課長 今、お話しさせていただいたある会員さんからの御意見としては、ある区との比較においては安いのではないかとというような御

意見をいただいております。

ただ、広報の配布単価を見ますと、例えば、そのある区ではない別の23区の区との比較を、単純比較はなかなか難しいところではあるのですが、足立区が何か突出して低いというような、そういった状況にはないということは御理解いただければというふうに思います。

○山中ちえ子委員 そうはいつでも、お隣の葛飾区と比べて大変な差があるということが言われているのです。100部配った場合では、足立では、広報はどのぐらいで、区議会だよりの場合はどのぐらいかというのは、分かっていますか。

○企業経営支援課長 葛飾区のシルバー人材センターに問い合わせたところ、会員さんに一部お配りしたときに幾らお渡しできるのかという、そういった配分金の単価に関しては、公表していないというようなお話でしたので、我々としては、ちょっと、そこら辺のところは分からないという状況でございます。

ですので、申し訳ありません、100部配ったときのというのは、分かりかねるというような状況でございます。

○山中ちえ子委員 足立の場合は言えると思うのです。足立の場合は、100部配った場合は広報は795円だと。広報と区議会だよりを両方、この間も予算特別委員会で、ほかの議員からもあったように、併配しなくてはいけない、同時に配達しなくてはいけないということで、同時の配当金になっていると。両方同じように、同時に配って100部配布した場合は、1,060円だということなのです。そうした場合、区議会だよりの場合は、100部配った場合に265円になるのですよ。これで比較してみると、葛飾はやはりシルバーの中でつながって、いろいろ情報交換もしているという関係で、足立区の会員さんは分かって

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いるので、その内容からいうと、葛飾の場合は、広報は990円、100部配った場合ですけれどもね。区議会だよりが790円だというような計算になるということなのです。なので、100部配った場合は、比較してみると、広報では195円、区議会だよりでは525円と、葛飾区の方が高いと。こういう状況の中で、あまりにも低過ぎる問題、それから、併配しなくてはならない大変さですね、重いから。区議会だよりはしっかりした紙だから、重いわけですが、こういった、重労働といった視点からと、両方をしっかり見ていかなければいけないと思うのですけれども、その2点についてどうですか。

- 企業経営支援課長 併配においてというところで、単価が安いのではないかというお話なのですが、ここについては、シルバー人材センターの事務局の方でも、課題というふうな認識はあるというふうにお伺いしております、まだ確定はしていないそうなのですが、令和6年度、区議会だよりとの併配については、できる範囲で上げていきたいと。今後も、葛飾区さんだけではないのですけれども、そういった配布の単価、併配も含めてどうあるべきかというところの検討というのは、引き続き行っていきたいというふうにお話を伺っているところです。
- 山中ちえ子委員 是非、そうやって、現場の会員さんが、配当金のことに関してもそうだし、労働に関しての内容もそうですけれども、事務局などがどう対応したか、どう是正していこうかといった話がされているとか、ちゃんと報告し合うとか、把握しているべきだと思うのです。こうやって明るみにならないと、こうやってインボイスの影響を受けた単価を引き上げていくといったときに、こういった問題も置き去りにされているのだということを私、ここで明らかにしないと、明

らかにならなかったわけですね。だから、しっかりと意見を組み込むと、それをしっかりと是正していくという、そういうサイクルをちゃんとつくっていかなくちゃいけないと思うのです。

こういったことを是正していくということですが、そのめどとしては、どのぐらいの計画ですか。

- 産業経済部長 ただいま山中委員の方から、明るみに出ないとたださないというふうなお声がありましたけれども、そういうことはございませんで、例えば、令和4年度から令和5年度にかけて、やはり広報の配布単価が低いというふうなことは認識はしていたので、そこら辺は、執行機関とちよっとお話をしまして、上げたというふうな経緯が既にございます。

併配につきましても、せんだっての予算特別委員会で、高橋委員の方からいろいろお話がありました。併配にまつわるその労苦もあると思いますので、そこら辺もしっかりと受け止めまして、執行機関の方と調整をして、単価のアップをシルバー人材センターとして、図っていきたいというふうに考えております。

- 山中ちえ子委員 是非、そういう話を、この陳情で出されたということが、本当に意義深いということになります。こうやって明るみになっていくことによって、是正していくということですから。明細書も、葛飾区の場合は、明細書がちゃんと出るということで承っています。そういう中で、明細書が出ない、通帳に印字して初めて分かるといったことも言われています。そういった、今回こうやって配当金の中からインボイスの消費税分が減額されると、その中でも軽減措置がされて、今回2%だという中で、個人事業主であるこの会員さんが、しっかりと内容を確認できるようにしなければいけないのに、明細書まで出ないというこ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

とでは問題だと思うのです。これ、何で出ないのかと問い合わせたときに、そういった経費がもつたないからということをお返されたらしいのですよ。そんなのあまりにもひどいではないかと思うのです。明細書なり、そういった説明する紙なり、ちゃんと出していくということにしてもらえませんか。

○企業経営支援課長 今、この場でそういった何か私の方で、できます、できませんというのは、ちょっと御答弁、なかなか難しいのですけれども、先日の予算特別委員会でも、そのような御意見ありましたので、シルバー人材センターの方にはお伝えしていきたいというふうに思います。

○くぼた美幸委員長 他に。

○市川おさと委員 話がだんだんインボイスの話から単価アップの話にもう取れんしてきているのかなというふうに思います。しかも、この陳情を見ますと、要するに委託費に消費税分の上乗せを求めるとか、シルバー人材センターの援助を求めるとか、要するに新規の支出だよ、新規の支出を求めるといった内容になっているのだけれども、一方において、さきの予算特別委員会、私も YouTube で全部見ましたけれども、共産党さんが修正案を出しました。修正案の中には、そうした内容は含まれていなかったというふうに私は思うのですけれども、山中委員、いかがですか。

○山中ちえ子委員 だって、ごくごく少ない修正にとどめたのです。それは、なぜかという、やはりその予算の0.08%を予算増額すればできるのですよと、広く支える形の給付なり暮らしなり、そして、営業を支える内容にしていくということで、ごくごく少ない内容で絞って、よりすぐって考えて出したものです。

ここのインボイスに関わってのシルバー人材センターへの援助ということは、もちろん入ってい

ませんけれども、これはここで議論して、採択に持ち込んでいくということに力を入れるべきだと。これは、まだまだ審議は継続であって、市川委員御本人もそうですけれども、しっかり議論して、態度を示していくということが大切なのではないですか。

○市川おさと委員 今、私の質問に対して、共産党、予算特別委員会の修正案の中で、このインボイスに伴うシルバー人材センターにお金出してという陳情ですけれども、それは全く含まれていないということをお認めになりました。

私は、こうした在り方というのは、ちょっとおかしいのかなというふうに思っています。はっきり言って、共産党のこの修正案というのは、予算特別委員会の場でも、審議というのは全く行われなかった。質疑、全く行われなかったというふうに、私は思っています。聞いていただければ、事務局、いかがですか。

○区議会事務局次長 それ、されていなかったと…

○市川おさと委員 私はちゃんと、同じ議員ですから、その内容を読んで、今こうやって質疑をしているわけでありまして、以前、同じようなことで、針谷委員とやり取りしたのですよ。そのとき針谷委員は、まず、よく読んでくれて、質疑してくれてありがとうございます。まず感謝の言葉を僕は聞いて、さすが針谷委員だなということを今でも覚えています。今の山中委員の発言を聞きますと、自分がこの委員会の中でさんざん言っていることをその内容に含めていなかったということの何か思いが、ちょっと感じられなかったなというふうに思います。もちろん、このインボイスに伴うこの陳情の趣旨というものは、内容自体は、私も理解しているところでありまして、どう解決すればいいのかというのは、先ほど来、山中委員もおっしゃって

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いますし、単価アップということにも収れんされているのかなというふうに思います。したがって、このシルバー人材センターを特別に区の支出を伴いまして、区の支出をして、穴埋めをしるというちょっと筋の悪い陳情だなというふうに思います。

先ほど山中委員が継続しているとおっしゃいましたけれども、私はもうそろそろこのインボイスということは、予算特別委員会でも、私の記憶でも、誰も何も言ってなかったというふうに記憶しておるわけでありまして、正にこの単価アップということをこれからもしっかりと進めていきたいなというふうに思うわけでありまして。

どうですか、そちらは、質疑してはいけないから、答えて。

○企業経営支援課長 今おっしゃったとおり、単価アップについては、今、公共部門、民間部門、これまでなかなか単価に関して、積極的に交渉してこなかったというところがあるのですけれども、今回、シルバー人材センター事務局としても積極的なそういった単価の交渉というのを行うようになっていきますので、引き続き、そういったところは、区としても応援してまいりたいというふうに考えております。

○市川おさと委員 シルバー人材センターは、別に区の広報とかだけを配るわけではなくて、民間の仕事もしている、そこに今、企業経営支援課長がおっしゃいましたように、今までは、シルバー人材センターとしては、何の介入もしてこなかった。それを単価アップという方向で介入していくということでもあります。また、聞くところによりますと、事前に聞いたところによると、シルバー人材センターは、60歳以上ですけれども、よく働く人に関しましては、ちゃんと働ける人に関しては、民間の企業からヘッドハンターというか、誘いがあって、そっちにも相当流れているという流れも

あるやに聞いていますけれども、そういうことでよろしいのですか。

○企業経営支援課長 昨今の人手不足を受けて、1度シルバー人材センターになった会員さんが、結局、民間企業の方から声が掛かって、また、再就職というような形で抜けてしまうと、そういったことがあるというふうに聞いております。

○市川おさと委員 そのこと自体は、私はすごくいいことだなと思います。シルバーの会員さん、会員さんが、シルバー人材センターのある限定された仕事ではなくて、民間の方ではっきり言って、シルバー人材センターに何で登録してやるのかといったら、それはお金ですよ。お金がというのは、すごく大きい目的なわけでありまして、そういった意味で、より条件のいい方に移っていてもらっているというのは、私は、それはそれでいい話なのかなというふうに思っております。

以上です。

○山中ちえ子委員 今、市川委員の発言について、修正案をじっくり見ていただいてありがとうございました。大分、質疑に参加していただけたら、いろいろな質問が来たのかなと思います。そういう質問もありませんでしたし、審議がなかったというのは、とても私、構えて待っていて、修正案の一つ一つの個票を持って待ち構えていたのですが、なかったと。ただ、御自分の質問で、一生懸命やる課題を考えてやられていたので、そこは言いませんけれども、やはり、先ほどのインボイスに関しての陳情について、筋が悪いとおっしゃいましたけれども、そんなことは、住民が必要だと思って出す陳情について、そういう見解はないのではないかなというふうに思います。筋が悪いというよりか、早めにこれは採択にして、国にしっかり要望を上げていくと、意見書を上げていくといったことが、あ、意見書ではない、この

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

陳情に関連して、もう今、付託陳情が出されていましたが、それに関してもそうだったと。これもシルバー人材センターの配当分が減額されるといったことが、前向きに進むように、議会全体で採択に持ち込んでいくということが、やっぱり必要だったのかなというふうに思います。

筋が悪いと言いますけれども、区がやらないと言った中で、では、どういう方法があるのだということで、技術力をアップして、それで研修も重ねて、そして発注者に、値上げをしっかりと要請していく、そういう努力をしていくということですから、それでは、2%の最初は、減額は賄っていきけるのではないかというようなことも、期待しなくてはいけないわけですよ。だから、そのことに関して質問しているわけであって、何もこれを区の援助をしなくては、それは求めることを諦めたわけではありません。なので、そういう趣旨の質問をされること自体に、ちょっと本当にひどいなど。陳情に対して、そうやって筋が悪いとかというのは違うと思います。

- くぼた美幸委員長 市川委員、質疑なのでね。どうぞ。
- 市川おさと委員 それは別に委員会でやって何でも。先ほどの山中委員の発言の中で、これ国に意見を上げるとかという話がありましたけれども、そんなことはこの陳情には全く書かれていないわけですよ。そうですね、事務局。
- 区議会事務局次長 市川委員おっしゃるとおりでございます。
- 市川おさと委員 それから、陳情に対して筋が悪いとか悪いとかということを経験者が言うのは、何の問題もないわけですよ。陳情、場合によっては採択するし、場合によってはそれは切る、不採択とすることもあるわけですから、全然その陳情に対して、何か私が意見を言って、否定的なネガテ

ィブな意見を言う、ポジティブな意見を言うというのは、それは、議員として当たり前の話でありまして、何の問題もないというふうに考えております。

以上です。

- 山中ちえ子委員 いろいろな意見を言っているという場が、この言論の府であって、議会の中なのです。だから、私が、この、
- くぼた美幸委員長 山中委員、よく分かります。ただ、質疑なので。質疑なので。
- 山中ちえ子委員 そういう質疑は、本筋のこの陳情が求めるシルバー人材センターの会員の方々が求める切実な思いを解決していく、打開していくといったところとは、全く違うところなので、そういうところはちょっと本当改めていただきたいと思います。
- 市川おさと委員 改めていただきたいとか言われたら、ちょっと黙っていられませんよ、私は一貫して、最初から、単価アップについては、この委員会でも主張していますし、またその方向で今はっきりと、区もシルバー人材センターも動いているわけですよ。そうですね。
- 企業経営支援課長 市川委員おっしゃるとおりでございます。
- 市川おさと委員 以上です。
- くぼた美幸委員長 他に。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- くぼた美幸委員長 各会派の意見を求めます。
- 杉本ゆう委員 今さんざん議論がありましたように、区としては、今後、単価のアップであるとか、その他の問題、今回、予算特別委員会を通じて、いろいろな会派のところから話が出ていて、いろいろ解決しなければいけない課題もあるのだらうなどと思いますので、その点に関しての議論はまだ必要だということで、継続ということをお願いし

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ます。

- 水野あゆみ委員 私も、前回同様、経過を見守りたいと思いますので、継続をお願いします。ちょっとインボイスのところなので、ちょっとほかのところでもまた質疑させてもらいたいと思います。
- 山中ちえ子委員 インボイスの影響を受けて、シルバー人材センターの会員が、しっかりと意見とか、主張だとかをちゃんと受け入れてほしいということは、やっぱり大きな範囲で入っている、このことを解決してほしいということとともに、やっぱりちゃんと一人一人の意見を、人権を重視するといった点でもそうですけれども、やってほしいと、そういう思いがしっかり込められた陳情だと思います。ですので、私は、これは採択というふうに。

- 富田けんたろう委員 不採択をお願いします。

- 市川おさと委員 この陳情自体は、国に意見を上げるとかそういうものではなくて、区に、委託費の消費税分の上乗せを求めるとか、消費税分の減額されることがないように援助をすとか、そういったような内容であります。それは、今この場で、議論が収れんされつつあるように、単価アップということで議論が進んでいくわけですから、私は、また、されているわけです。

また更に、日本共産党足立区議団の皆さんのさきの予算特別委員会における修正案の中でも、インボイスだとか、シルバー人材センターの消費税分を減額するように足立として援助をしるとか、そういった内容も全く含まれていませんでした。そうしたことを踏まえれば、私は、今後は、こうした消費税分を上乗せしろとかというそういう筋の悪い話ではなくて、単価アップ、単価アップ、単価アップをしっかりと進めるべきであるというふうに考え、不採択を主張いたします。

- くぼた美幸委員長 それでは、ただいまより採決

をいたします。

本件は継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

- くぼた美幸委員長 山中委員、委員長よりお伺いしますけれども、継続ということによろしいですか。

先ほどの態度表明ですと、採択と申しましたけど。

- 山中ちえ子委員 今、改めて態度が問われ……。

あ、まだ問われていませんか。では、もう1回改めて。

- くぼた美幸委員長 もう一度採決をいたします。

本件は継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

- くぼた美幸委員長 本件は、可否同数でとなりました。よって委員会条例第……。

[「あ、継続です」と呼ぶ者あり]

- くぼた美幸委員長 継続。可否同数ですよ。

再度改めますね。先ほどの採決によりまして、可否同数でありました。よって委員会条例第15条の規定により私が採決いたします。

本件は継続審査と決定をいたします。

次に、(2)5受理番号19 国(国土交通省)の「住宅・建築物安全ストック形成事業」にある「住宅・建築物アスベスト改修事業」の拡充を求める国への意見書の提出を求める陳情を単独議題といたします。

前回は継続審査でございます。

執行機関、何か変化はございますか。

- 生活環境保全課長 特段の変化はございません。

- くぼた美幸委員長 何か質疑はございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- くぼた美幸委員長 質疑なしと認めます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

各会派の意見を求めます。

- 杉本ゆう委員 継続をお願いします。
- 水野あゆみ委員 今、調査状況を調べていただいているところなので、継続をお願いします。
- 山中ちえ子委員 これは、早めに意見書を区議会を出していくということで、アスベストによる中皮腫などのがん患者さんや、やっぱり、持っている、もう潜在して持っている方もいますし、そういったことを解決していく糸口の一つとなると、だから、採択の主張をしています。

- 富田けんたろう委員 継続です。
- 市川おさと委員 継続で。
- くぼた美幸委員長 それでは、これより採決をいたします。

本件は、継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

- くぼた美幸委員長 挙手多数であります。よって、継続審査と決定いたしました。
- 次に、(3) 5 受理番号 46 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情を単独議題といたします。
- 前回は継続審査でございます。
- 執行機関、何か変化はございますか。

- 産業経済部長 特に変化はございません。
- くぼた美幸委員長 何か質疑はございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- くぼた美幸委員長 なしと認めます。
- 各会派からの意見を求めます。
- 杉本ゆう委員 継続をお願いします。
- 水野あゆみ委員 前回同様、継続をお願いします。
- 山中ちえ子委員 継続をお願いします。
- 富田けんたろう委員 継続をお願いします。
- 市川おさと委員 採択。

○くぼた美幸委員長 それでは、これより採決をいたします。

本件は、継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

- くぼた美幸委員長 挙手多数であります。よって、継続審査と決定をいたしました。

————— ◇ —————

- くぼた美幸委員長 次に、所管事務の調査に移ります。

(1) 二酸化炭素排出実質ゼロに関する調査についてを単独議題といたします。

また、報告事項(13)、(15)、(17)、(19)が本調査と関連しておりますので、併せて報告を願います。

- 環境部長 それでは、お手元の環境部の方の報告資料2ページをお開きいただきたいと存じます。
- 令和6年度省エネ・創エネ推進事業(案)についての御報告でございます。

来年度に予定しております当該事業につきましては、2ページの表に記載のとおりということでございます。陳情が採択されました節水型トイレ補助金を新たにスタートいたしますほか、ZEH、東京ゼロエミ住宅ですとか、太陽光発電システム・蓄電池、電気自動車などを拡充する予定ということで考えてございます。

本事業実施によりますCO₂削減量の推計は1,400t余り、3ページからは、それぞれの補助事業の内容をまとめてございますので、お目通しをいただければというふうに考えてございます。

お手数ですが、8ページまでページを進めていただきたいと存じます。

令和6年度の環境学習の展開の案についての御

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

報告になります。

令和6年度に予定してございます環境学習は、脱炭素に向けた行動変容、これを強く意識して進めたいというふうに考えてございます。

新たに一般向けといたしまして、10回程程度の環境講演会を予定しており、更に、これまでも行ってきた小・中学校向けの出前講座、こちらにつきましては、回数を増やして実施していきたいというふうに考えてございます。

こちらの小・中学校向けの出前講座に注力いたしますために、ポスターコンクールは一旦終了させていただきますけれども、楽しく学べる講座を子どもたちに少しでも多く届けられるよう、私ども、精いっぱい努めてまいりたいというふうに考えてございます。

これらの取組のほか、来年度、あだち再生館と荒川ビジターセンターを一体化して新たに発足予定でございます環境情報プラザでは、地域学習センターですとか、幼稚園、保育園等に出向いて、年間120講座以上の出前講座を実施することを予定してございますし、また、山ノ内町や、鹿沼市へのツアーにつきましても、脱炭素につながるカリキュラムの充実に努めていきたいと考えているところでございます。

続きまして、11ページにお進みをいただきたいというふうに存じます。

AIシステムを利用した食品ロス削減実証実験事業の進捗でございます。

データ取得が本格化いたしました昨年11月から1月までの食品ロスの排出量と、それから、来客予測の一致率をグラフにしてお目に掛けてございます。

項番2に記載のとおり、この予測データを仕入れですとか、仕込みに十分生かし切れていないですとか、あるいはデータ入力にまだまだ支援が必

要だといったような事業者の方もおられるなど、課題もございますので、引き続き、アドバイスあるいはサポートを通じて、これらの課題解消に取り組ませて、最終的には、これ全区展開をしていくということが目的でございますので、この全区展開の可能性を探っていく、広げていきたいというふうに考えているところでございます。

続きまして、13ページにお進みをいただきたいと存じます。

工場の省エネ機器更新に係る新たな補助制度の新設の案についての御報告でございます。

来年度から予定してございます新たな補助制度でございますけれども、工場の生産設備というのは、消費エネルギー量が非常に大きい一方、解体には多額の費用が掛かりますことから、古い機器を長く使用されているケースが多い。こうした現状を踏まえまして、省エネ型の機器への更新を補助金を使って誘導を図りたいという趣旨のものでございます。

補助に当たりましては、有資格者が実施いたします省エネ診断で10%以上のCO₂削減効果が見込まれるなど、幾つかの条件設定を考えてございます。

新年度予算をお認めいただけましたら、区内金融機関ですとか、商工会議所等への協力依頼あるいは会合への出席などで、PRに努めてまいりたいというふうに考えております。

なお、当初予算策定に当たりまして、これまでの設備変更に伴う認可申請の実績を踏まえて、補助額上限500万円掛ける6件分で3,000万円を計上してございますけれども、好評を得まして予算が不足するようであれば、また補正予算等について御相談させていただければというふうに考えているところでございます。

私からは以上です。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○くぼた美幸委員長 何か質疑ありますか。

○水野あゆみ委員 私からは、省エネ・創エネ推進事業の方の報告事項で上がっておりますので、こちらも一緒に質疑をさせていただきたいと思えます。

今回、陳情が採択されて、節水型のトイレが補助金に加わったわけですが、これを見ますと、来年度は150件の予定というふうになっております。令和3年度を見ると178件の実績で、予算としては520万円余を使っているのですが、今回、この件数、少ないのではないのかなと思ったのですが、この辺はどのように考えてこうされたのでしょうか。

○環境政策課長 水野委員おっしゃるとおり、廃止直前170件余の申請がございました。しかしながら、過去数年平均すると、150件程度ということでしたので、まず、新規ということですので、その平均を取らせていただいで150件というふうに計上させていただいているところでございます。

○水野あゆみ委員 分かりました。省エネ・創エネの予算の全体の中で、もし、トイレの補助金の方が申請が多く上がったら、そっちの方にも使えるという考え方でいいですか、それとも450万円がマックスという考え方でしょうか。

○環境政策課長 こちら、予算に関しましては、全体の中で適正に執行していきたいと考えておりますので、仮にですが、節水トイレの方が大きく申請された場合は、そちらを優先していきたいというふうに考えております。

○水野あゆみ委員 分かりました。私の周りでも、もう既に使いたいと言われている方がいらっしゃるんで、150件では、とても足りないのではないかなと思いましたので、御要望させていただきました。

次に、AIシステムを利用した食品ロスの削減実証事業について伺いをします。

11ページを見てみますと、現状の課題ということで、(1)のところ、来客の予測データの精度が徐々に高くなっているが、大きく外す日がある、予測精度が安定していないということでありました。せっかくAIを使って、これたしか予算1,800万円以上使ったの実証実験でありますので、徐々に高くなっているがというのは、3年掛けて精度を高めていくのか、どれぐらいの期間が必要だと思っているのか、また、何%ぐらいその予測が当たれば成功と考えているのか、その辺、もう一度教えていただきたいのですけれども。

○環境政策課長 まず、大きく外す日というのが、これ平均ですと、もう、8割近くの精度に上がってきているのでございますが、個店のイベントというのがございます。そこがデータに生かし切れていないと、外す日があったというところで、課題としてはあるなというところで、まず個店のイベントをしっかり把握していこうというふうに考えております。そのため、今後、安定はしていくかなというところとAIですので、これ学習をしていくということが非常に必要です。3か月、4か月程度で大体安定してくるかなと予測精度に関しては見込んでおります。

○水野あゆみ委員 個店の情報ということなのですが、例えば、PayPayのキャッシュレス還元祭やりましたとか、あと、こういったイベント情報もヒアリングして把握して、システムに入力するという、結構そういうところはアナログなんだなというふうに思っています。何かAI全体でやってもらえないのかなというふうに思ったのがちょっとあれだったので、あと2年間あるわけですよね。しっかり目標を定めて、どうなれば成功なのかというのもしっかり考えながら、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

進めたいと思いますが、パーセントとしては、ごめんなさい、もう一回、どの程度を目指しているのでしょうか。

- 環境政策課長 予測精度に関しましては、他のこのシステムの利用実績としては、9割程度になっておりますので、9割が予測精度に関しては目指していきたいというふうに考えております。
- 杉本ゆう委員 今のAIの話なのですけれども、現状、7割から、よくて73.8から79.1の割合で3か月出ていますけれども、これどうなのでしょう、利用している人自体は、このAIのこの七十何%というのは、ふだん自分で肌感覚で、お客さんの集客、予想していたのと比べて、より効果的であるという理解はしていただいているのですかね。
- 環境政策課長 私の方でも、1月、2月と個別の事業者さんのヒアリング、立ち合わせていただきました。特に、2月に出てきた感想としては、自分が思っていたのとAIが予測したので、AIの方が正しい日が増えてきたと。何でだろうというところで、自分の予想と合わなかったところは、何でだろうというところで、AIのシステムの担当者と話しているのですが、そういう予想だなというところがあるので、AIの利点というのは、予測精度に関しては、かなり見られたかなというふうに考えております。
- 杉本ゆう委員 そうですね。今、2月とおっしゃいました。飲食店もそうですし、一般的な小売店も、2月は売上げが落ちると、みんな勝手に思い込んでいる部分があるのですけれど、もちろんAIがどういう根拠でこれ出したか分からないですけれども、では、やはりAIの方が比較的、今まで自分たちが当たり前だと思っていたことに反して違う数値が出ているけれども、それの方が正しいという理解が、やっぱりそれなりに、今回参加

してくださっている事業者の方々、そう思っていて、なかなか使えるなどというふうには理解してくれているということによろしいですか。

- 環境政策課長 こちらの課題にも書いてあるのですが、非常に積極的な店舗もございます。逆に言うと、こういう予想ができないかとか、そういう店舗もございます。そういう店舗に関しては、これから使っていきたいというふうに言っているところでございます。
- あと、データに関して苦労しているところは、入力に苦労している店舗もありますので、店舗ごとによって、若干気持ちは違うかなというふうに思っています。
- 山中ちえ子委員 私からは、環境学習施設運営委託のプロポーザルの特定結果や環境学習の展開についての報告に触れて、質問します。
- この事業、やはり子どもたちに環境学習を体験で学んでいくと、いけるというような状況をつくっていくと、旧あだち再生館がなくなって、荒川ビジターセンターと一緒になるということですので、そういった中で、やはり、SDGsの未来都市のパートナーが100程度だということなのですけれども、こういったNPOとつながって、いろいろな取組をしているところとつながって、区が情報発信したり、取組につなげたりということが大切だと思うのですけれども、そういったSDGsの方のコーディネーター役の課と連携が必要だと思いますけれども、その辺はどういう連携をしているのですか。
- 環境政策課長 山中委員おっしゃるとおり、子どもたちに体験をしてもらったり、あと、多様なパートナーとつながることは大変大切だと考えております。
- 具体的には、SDGs未来都市推進担当との連携や、あと、協働・協創推進課と連携をしております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ます。更に、この小学校向けの出前講座に関しては、NPOを含めて、NPO民間団体など多様な団体のメニューを御用意させていただいているというところでございます。

○山中ちえ子委員 そういった点では、やはりいろいろな自然を守るといったところでも、環境とリンクして、川に囲まれている足立区ですから、川のごみをしっかり取っていくといった、そこで、川の水質を調査したりといったことが、いろいろな川で、垢川でやったり、花畑川でやったりといったことでもやっている団体がありますので、こういったところも連携していくといったことで大丈夫ですか。

○環境政策課長 川に関しましては、たしか生活環境保全課の方で出前授業の方、水質について御用意をしていたりとか、当然、あと、ビクターセンターが過去あったところですので、荒川が近いですので、荒川についての講座とかも御用意をさせていただきます。

また、新たな連携先等があれば、積極的に連携していきたいというふうに考えております。

○富田けんたろう委員 私から1点だけ。省エネ対策工場設備の更新補助金について、予算特別委員会でも触れました。今、環境部長からは、今後、臨機応変に補正予算の措置を考えていくというような前向きなお話もありました。改めて気になることを質問をさせていただきます。

これ、省エネ診断をあらかじめ受診をするということですが、省エネ診断で、今どれぐらいの金額で受けられるものなのでしょうか。

○生活環境保全課長 国の補助を受けまして、大体5,000円から2万円以内ぐらいでできるようになってございます。

○富田けんたろう委員 そうですね。私も調べたのですが、やっぱり5,000円。最低で

も5,000円ぐらいかなというところだと思います。そこに関しては、特に補助はしないということかと今回理解をしていますけれども、その報告、省エネ診断によって、削減効果が10%以上見込まれることというのが要件になっていますけれども、これは、CO₂の排出量が10%削減ということでもよろしいですか。

○生活環境保全課長 富田委員おっしゃるとおりでございます。

○富田けんたろう委員 なぜこんなことをお聞きしたかという、要は電力が10%削減ではこれ駄目だというふうに今回考えた、理由だったりそこら辺を教えてください。

○生活環境保全課長 消費電力等の削減量を診断していただき、それを換算して、CO₂削減量にするという方法でございます。

○富田けんたろう委員 なるほど。分かりました。これ、現実的に、ミニマムだと大体200万円の投資で10%というのが、削減、実際できるものなのでしょうか、一般的に。そこら辺ちょっとすみません、私も、あまりそこら辺、知識がないので教えてください。

○生活環境保全課長 まずは、省エネ診断を受けていただき、その結果で、事業の方を推進していきたいというふうに考えております。まだこれから始めますので、まずは、生産業者の更新の意欲の向上につなげるような目的で、今回制度を組み立てさせていただいたということでございます。

○富田けんたろう委員 分かりました。

○環境部長 若干補足ですけれども、この事業、最初は担当課長の方から、相談を受けましたときに、今回対象になるのは、非常に古い時期に作られた機械をだましだまし使っているような、そうしたケースが対象になるだろうと。そうした中で、本当に何十年前の機械を最新のものに変えていくと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いうところで、10%程度、それ以上のCO₂削減が見込まれるのではないかという説明は聞いていたので、今、そういうふうに答えてくれるかと思ったのですけれども、そういうふうな話は、私の方で★★。

○くぼた美幸委員長 よろしいですか。

他に。

[「なし」と呼ぶ者あり]

————— ◇ —————

○くぼた美幸委員長 それでは、次に、報告事項に移ります。

(1)から(9)を産業経済部長から、(10)、1件を勤労福祉サービスセンター事務局長から、(11)、以上1件を企業経営支援課長、(12)、以上1件を観光交流協会事務局長から、所管事務の調査で報告済みの(13)、(15)、(17)、(19)を除く以上3件を環境部長から報告を願います。

○産業経済部長 それでは、恐れ入ります、産業経済部の産業環境委員会報告資料2ページをお開きください。

初めに、緊急経営資金（新型コロナ対策及び原油価格・物価高騰対策資金）の決定状況についてでございます。

下の表にありますとおり、2月につきましては299件の受付を行いました。令和4年度に比べますと、令和5年度、件数自体は少ないのかなというふうなところになってまいります。

次に、3ページでございます。

セーフティネットについて記載がありますが、3ページの上から3行目、セーフティネット4号につきまして、6年3月31日まで延長されたというふうに記載してございますが、つ

い先日、これが6月30日まで延長されるというふうな情報をいただきましたので、ここで御報告させていただきます。5号につきましては、延長の情報についてはまだ入っておりません。

続きまして、恐れ入ります、5ページをお開きください。

令和6年度緊急経営資金の実施（案）についてでございます。

こちらにつきましては、新型コロナ対策及び原油価格・物価高騰対策資金というふうな形で実施をしまいましたが、令和6年度につきましては、関係機関の意見を踏まえまして、利用条件とか名称の変更をしていきたいというふうに考えております。

まず、1の(1)でございますが、名称につきましては、コロナの影響というのが大分少なくなっているというふうなところで、名称を原油価格・物価高騰対策資金というふうな形にさせていただきますと考えております。

(2)番、利用条件につきまして、これまで、1円以上減少している月が1か月でもあれば利用可というふうなことになっているわけですが、こちらにつきましては、2の表の中ほど右にありますとおり、例えば、最近1か月の売上高が3%以上減少しているとか、あと利益率、売上げ、最近上がっている状況にあります。一方で、物価が高くなっているということで、利益率が、押し下げられているというふうなことがありますので、利益率も指標に加えていこうというふうなところでの変更でございます。

今後、金融機関ですとか、区内事業者への周知をしっかりとってまいりたいというふうに考えております。

続きまして、6ページでございます。

こちらにつきましては、産業技術・経営研修会

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

助成事業補助金の名称変更についてでございます。

さきの本会議の代表質問でもありましたが、現在の名称では、資格取得に係る研修費用も補助対象経費であるということが分かりづらいので、2番にありますとおり、中小企業人材育成資格取得研修費補助金という名称に変更したいというふうに考えております。補助金の内容につきましては、従来のものと補助の上限額とか補助率とか変更はございません。

5番、今後の方針ですが、公社ニュースときめきですとか、区内企業へのダイレクトメールなど、周知の方を徹底してまいります。

続きまして、7ページでございます。

区内中小企業人材採用支援助成金実施（案）についてでございます。

こちらにつきましては、人手不足が深刻化しているということで、求人広告費等の採用コストの負担が増大しているというふうな声をお聞きしましたので、そちらについての助成をしようというものでございます。

2に概要とありますが、対象経費としては、求人サイトや優良求人情報誌等への掲載費用、それから、人材紹介事業者を介して雇用できた場合の経費、補助の上限については40万円、助成率は2分の1というふうなところで考えております。

こちらにつきましては、3番にあります、セミナーを申請額10万円以上の方には受けていただきまして、求人票の書き方ですとか、最新の求人動向ですとか、そういったものに関することを学んでいただきたいというふうなところでございます。

続きまして、9ページをお開きください。

令和5年度産業経済部主要施策（消費喚起策）の進捗状況についてでございます。

まず、昨年末行いましたキャッシュレス決済還

元事業ですけれども、1の（1）の表の記載のとおり、12月1日から25日までの間に実施をいたしました。還元額としては、12.39億円というふうなところで、予算額に対して6割ぐらいの執行というふうな形になりました。経済効果については53.3億円、波及効果については80.9億円というふうに試算しております。なお、区民と区外の方の割合、6割、4割というふうな形でございます。

以下のページ、10ページ以降に、アンケートの方を記載しております。Pay Payの方で実施したアンケートですけれども、7割以上の方が、売上げに関しては増加したというふうな御回答をいただいております。

11ページ以降は、★★に対するアンケートですけれども、スマホ決済の導入率、（3）のAにありますけれども、導入しているところが56%で、昨年やった調査から2.7%ほどしか上がりませんでした。ちょっと頭打ちなのかなというふうなところで、売上げですとか、キャンペーン期間中の来店者数ですとか、11ページ、12ページに書いてありますが、いずれも増加したというふうなところが多い回答でした。

少し飛びまして、14ページをお開きください。

キャンペーンの実施時期については、12月が適当だろうというふうなところの回答が44%ございました。

今回15ページ、総評というふうに記載してございますけれども、東京都の補助金がない中での実施というふうなところで、期間を短くしたり、一部の店舗で還元率を下げたというふうなところで、還元ポイントが予想をちょっと下回ったというふうな形に落ち着いたというところでございます。

続きまして、16ページをお開きください。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

第3回でレシートd e商品券事業の方です。

こちら、3月25日から開始予定ですが、まだ店舗の募集を行っているところでございます。3月1日現在で1,494店とありますが、おととい確認したところ、これは1,508店舗というふうになっております。店舗の方は、4月の19日まで登録が可能でございます。

続きまして、17ページ、お開きください。

小規模事業者経営改善補助金の申請状況についてでございます。

こちらにつきましては、18ページの方に交付決定額がございまして、こちらの数字、昨日現在の数字をこれから申し上げます。令和5年度の総計でございますが、4億6,749万6,000円になってございます。3月が8,700万円ほどの内訳で記載しておりますけれども、こちらが、昨日現在で1億9,486万円というふうな数字で、執行率は77%に現在なっております。

飛びまして、6の(2)、今後の方針でございますが、当初予算額が可決された場合には、この事業、また再びやっていきます。その場合には、建設業とか製造業ですとか、従業員の人数を30人以下、商業とかサービス業は、従業員の人数を10人以下というふうな形にして実施をしたいと思いますと考えております。

続きまして、20ページです。

足立区運輸事業者エネルギー価格高騰対策支援金の申請状況についてでございます。

こちらにつきましても、申請件数が1の(2)にございますが、昨日現在の数字を申し上げます。申請件数につきましては1,189件で、5件、こちらの数字から増えております。交付決定件数は1,151件、そして、交付決定額につきましては1億887万9,000円というふうな形になっております。こちらの数字ですと、(3)の

表の下の方に、交付決定割合が約50%とありますが、今のところ57%というふうな数字になっております。3月中に全て交付決定を進めてまいります。

続きまして、21ページ、ベルモント市の使節団受入れ実施結果と6年度の使節団派遣に係る方針(案)についてです。

まず、受入れの方ですが、今年の1月11日から19日までの9日間、3番のスケジュールに記載のとおり、受入れを行ってまいりました。

22ページをお開きください。

ホストファミリーの方々からは、受入れの事前に、相手方と連絡が取れて、子どもさんの様子を聞いてよかったと、そのような様々な御意見をいただいております。これは、今後も、生かしてまいりたいと考えております。

そして、5番、令和6年度の使節団の派遣でございますが、区内の学生による使節団の派遣というものが、平成30年度を最後にずっと実施が見送られている状況です。感染症の影響ということですが、そういったこともありまして、本来、周年なので、大人の派遣になるのですけれども、令和6年度に限っては、子どもさんたちに行っていたきたいというふうなところで準備を進めているところです。

実施につきましては、8月の1日から8月の8日まで。人数は下に記載のとおり、学生さんは16人。(5)にあります。あだちの未来応援枠ということで、5名を予定してございます。

なお、23ページの(6)にあります選考方法ですが、以前は作文だけで、実際に面接とかしていませんでしたが、今回から面接を取り入れまして、その子の意欲ですとか、実際に会って、そういったものを確認した上で、選考してまいりたいというふうと考えております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

続きまして、24ページでございます。

足立の花火、花火打上等業務委託の公募型プロポーザルによる事業者の特定結果についてでございます。

こちらにつきましては、3番、特定した相手方、一般社団法人日本煙火芸術協会でございます。

4番、申込み事業者数は2事業者でした。

次のページ、25ページの8番、特定された提案書が評価されたポイントですけれども、提案自体は打ち上げ発数が、1万3,000発に満たないものでしたけれども、花火に対する高い芸術性があると。それから、この事業者の様々な競技大会等での受賞歴、こちらが高く評価されたというところでございます。

今後の方針でございますが、今現在、特定した事業者と打ち上げの発数等についての協議を継続していくとだということですので。

雑駁ですが、私から以上です。

○勤労福祉サービスセンター事務局長 資料、縦と横がありますが、横型の資料について説明させていただきます。

まず1ページをお開けください。よろしいでしょうか。

1ページの3番の経営方針です。主に、会員に魅力のある事業の実施、そして、会員の拡大でございます。

続きまして、2ページをお開けください。

新年度の事業の中で、ポイントとしましては、1番の生活安定事業、この中の(4)のエの Comedy Coffee、これ今年、好評だったので、来年度も行いたいと考えています。新規としましては、びゅう商品券、これも新規で行いたいと考えています。

2の健康維持増進事業の8番、インフルエンザ予防接種費用の補助、これ初めてやります。一応、初年度については500人対応で考えております。

続きまして、4ページをお開けください。

4ページの事業の中で19番、吉本興業のチケットです。これも今年、好評でしたので、来年度も行う予定でございます。それと、22番足立の花火、これ80席を頂きまして、最終的には4.5倍の倍率でした。新年度につきましては、できれば最低160席以上お願いしたいということで、お願いをしているところでございます。

続きまして、5ページでございます。

会員の現状でございます。

最新情報としましては、この2月現在ですが、1万566人の会員数があります。

続きまして、6ページをお開けください。

6ページの2番、基本財産の運用です。都から5億円を借りまして、この運用益、来年度、約292万円ほどの運用益を考えております。

続きまして、7ページをお開けください。

7ページの14番、区の補助金でございます。新年度につきましては、4,476万円ほど区からの補助を頂きたいというふうに考えております。

続きまして、最終的に、では、予算的にどうだということで、13ページをお開けください。

13ページの105番、正味財源の増減額でございます。マイナス668万円でございます。ただし、この2年間、コロナの関係で事業ができなかったことがありますので、その分、約1,000万円ほどありますが、そこから充当しまして、マイナスを補いたいと考えております。

以上でございます。

○企業経営支援課長 令和6年度足立区シルバー人材センター事業概要収支予算説明書を御覧いただければと思います。

1ページ目、組織機構、基本目標、基本理念等、大きく変更ございません。記載のとおりでございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ます。

2ページ目、会員数の推移でございます。

コロナの影響もあり、200名超減少したところが、微減が続いている状況でございます。会員の平均年齢は77歳まで上がっております。令和6年度会員数の目標値は3,400名としております。

3ページ目でございます。

契約額及び就業率の推移ですが、コロナで一時減少しましたが、現在コロナ前と同水準まで戻ってきている状況でございます。

4ページから6ページは、主な公益目的事業等詳細です。

1の(1)普及啓発就業開拓につきましては、ときめき記事の掲載段数の拡充、駅構内等への電光掲示板等によるPRの拡充を行ってまいります。

2、(3)の研修につきましては、リーダー会員の減少もあり、縮小となっております。

7ページからは収支予算に関してです。

主立ったところとしましては、7ページ、1、経常収益について、受取配分金は、5年度決算見込額に対して3%増見込みですが、一方で、インボイス制度による消費税納税分増による減というところで、前年比600万円減となっております。インボイスの関連で、受取事務費や租税公課が1,000万円ほど増となっております。

最終10ページでございます。

当期一般正味財産増減額ですが、211万円余の赤字予算で予算組みさせていただいているところです。

以上になります。

○観光交流協会事務局長 同様にA4横の表で説明させていただきます。

まず1ページ目です。

観光交流協会の経営方針ということで、新しい

言葉SDGSを加えさせていただきました。SDGsに配慮した観光事業を実施するということです。

主な事業内容については、三つございます。観光事業、PR事業、交流事業の三つでございます。

めくってください。2ページ目でございます。

それぞれ3本の柱の事業の詳細説明でございますが、観光事業については、主に五大イベントと言われるもの、花火も含みます。2番のPR事業は、ホームページや千住にあります街の駅の運営、NPOに関するまち歩き委託等を含んでございます。交流事業につきましては、友好自治体3自治体と姉妹都市ベルモントとの交流を含んでございます。

それでは、3ページから予算についての説明です。

令和6年度ということで、やや中央よりも左寄りのところの金額になってございます。中段の事業収益、約4,000万円ほど計上してございます。ほぼ花火の有料化であるとか、広告料収入でございます。主な財源としては、受取補助金となっております。足立区の方から5億2,300万円余を頂きます。

めくってください。

経常経費としては、全体的に支出としまして事業費、5億3,450万円ほど計上してございます。内訳は、観光事業や先ほどのPR事業等でございます。

おめくりください。7ページ目でございます。

法人の管理運営費として管理費が3,100万円余という金額です。管理運営費については、その下の1億6,000万円ほど計上してございます。

おめくりいただきまして、8ページです。

法人の資本金に当たるところで2,500万円

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

を定期預金管理として、当期の期首の正味財産としてでございます。

別紙からは、おのおのの事業の内訳でございますので、御参照ください。

以上です。

○環境部長 それでは、環境部の報告資料の方、お手元にお寄せいただきまして、まず、5ページをお開きいただきたいと存じます。

足立区環境学習施設運営委託公募型プロポーザルの特定結果についての御報告でございます。

先ほど、別の説明のところ少し触れました環境情報プラザでございますけれども、こちらの運営者が、プロポーザルで特定されましたので、こちらの御報告ということでございます。

まず、本施設の目的でございますけれども、資料項番2に記載のとおり、これまでリサイクル中心の情報発信、啓発というものから、脱炭素や自然環境、また、区の施策のPRも含めまして、環境全般にわたる啓発情報発信を行っていくというのが、この施設の目的になってございます。

特定いたしました事業者は、ヤオキン商事でございます。提案価格は5,300万円余ということでございます。

この事業者の特出すべき提案概要につきましては、6ページにお進みいただきまして、項番7にまとめてございますけれども、環境全般に掛かりますバランスのよい御提案かつ特色ある提案をいただけたということ、また、電子地球儀の導入といったような意欲的な取組もあつたり、また、専門的な機関との連携も進めていくと、こうした点が評価されたということでございます。

特定までに至ります経緯は、項番8に記載のとおりでございますけれども、実は、このプロポーザル1者のみの応募ということで、そうした中で進めてまいりました。したがって、7ページ

の評点表に記載のとおり、一次審査、二次審査とも、総得点の6割以上、これを選定の基準として評価をいただいたところございまして、全ての項目で、この基準をクリアできたという結果になったということでございます。

続きまして、10ページの方にお進みいただきたいと存じます。

集団回収業者支援金の増額の案についての御報告でございます。

区では、集団回収によって古紙回収を行っていただいている事業者の方に支援金をお支払しているところでございますけれども、昨今の燃料費や人件費の状況を踏まえまして、増額を予定をしているという内容でございます。

増額案の概略は、項番1の(1)に記載のとおり、基準額7円を9円に引き上げまして、支給単価の上限も撤廃するというものでございます。

支給方法につきましては、項番2の図をお読み取りをいただければと存じます。

今後も、燃料費や人件費等の動向を注視してまいりたいと考えております。

続きまして、12ページまでお進みいただきたいと存じます。

足立清掃事務所施設の改築に関する考え方についての御報告でございます。

まず、資料項番1を御覧いただきたいと存じます。

老朽化が進む清掃事務所のリニューアルにつきまして、大規模改修ではなくて、改築とした背景でございますけれども、清掃作業員に女性からの応募が出始めているという一方、現施設が男性作業員オンリーの設計になっているようなこと、また、バリアフリーの面で課題があつたり、機械や電気設備が地下にあって水害に弱い、このような課題が挙げられます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

こうした点を解消するために、改築ということでございますので、項番2に記載のとおり、女性職員の採用を想定した施設として設計すること、バリアフリーを織り込んだ設計とすること、防災面の脆弱性を解消することに加えまして、作業員の熱中症対策の充実、こうしたものを織り込んだものを基本的な考え方というふうに置いてございます。

新年度予算をお認めいただけましたら、令和6年度に基本計画を策定いたしまして、以後、仕様ですとか、コストの精査を行い、令和8年度以降のしかるべき時期に着工をしていく予定というふうに考えているところでございます。

今後、経費抑制の検討はもとより、ZEB化の検討あるいは地中障害物等の確認など、慎重に進めてまいりたいというふうに考えてございます。

私からは以上です。

- くぼた美幸委員長 それでは、何か質疑はありますか。
- 水野あゆみ委員 私も、何個か質問がありますので、端的にお伺いをいたします。

まず、産業経済部の方で、7ページ、区内中小企業人材採用支援助成金についてお伺いをします。人材不足で苦勞している企業への広告などのそういった補助金、補助を出すということですが、交付決定までの流れが、10万円以下と10万円以上で違うのですが、この10万円以上の場合は、セミナー受講必須とあるのですけれども、この受講内容と、また、そのセミナーは必須とした理由について教えてください。

- 企業経営支援課長 まず、セミナーを必須とした理由でございますが、昨今、有料の求人サイトを出しても、なかなか採用に至らないというようなところがございます。また、今回、こういった補助金を機に、初めてそういったことに取り組んで

みようというそういった事業者さんもいらっしゃるだろうというふうなところを見込んで、例えば、今、直近ある有料求人のそういったサービスというのは、どういったものがあるか、また、求人票の書き方はどうしたらいいか、あと、自分たちの会社が、本当に必要としている人材がどういう人材なのか、そういったことを改めて考えていただけるような、そういったセミナーを御用意したいというふうに考えております。

- 水野あゆみ委員 今話を聞くと、是非受講してほしいなというふうには思ったのですけれども、もう既にそういったことは分かっている上で、補助金だけ出してほしいという会社もあるのかなというふうに思ったのですが、そういった場合も、すっ飛ばすことはできずに、もう必須ということよろしいですか。

- 企業経営支援課長 ある程度そういったことも御理解いただいている事業者さん、当然いらっしゃるかと思うのですけれども、ただ一方では、時代時代のタイミングで、またいろいろ変わってくるものもあります。有料のそういったサービスも、民間の事業者も、様々出てきていたりもしますので、そういったものを知っていただくという機会にもなるかなというふうに思いますので、そういった点も踏まえてセミナー、見ていただけるというふうに考えております。

- 水野あゆみ委員 分かりました。とはいえ、人手不足という中で、オンラインで視聴できない人は会場に赴かなければいけないという、そういったこともありますので、是非、動画の視聴時間を短くするとか、ちょっともう少し簡素化、お願いしたいなと思います。ここはちょっと要望させていただきます。

小規模事業者経営改善補助金についてお伺いをします。これ、予算特別委員会でも、我が党の委

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

員からも要望がありましたけれども、やっぱり何
度も足を運ばなければいけないということで、私
も紹介した企業の方は、もう何日も抜け出して
くることは難しいから断念しましたということが
ありました。そういうことがあって、やっぱり資材
の、物価高騰などで苦しんでいる人々を救っ
ていけないのではないのかなというふうに思
いますので、そういったところは、もう少し改善
の余地があると思うのですが、その辺いかが
でしょうか。

○産業政策課長 水野委員からも、そして、予算特
別委員会のところでも、委員から御指摘をいた
だいたところでございます。これにつきましては、
必要な部分と、そして簡素化できる部分と、もう
一度、検討をしてみたいというふうに考えて
ございます。

○水野あゆみ委員 国でも、足を運ばずに、もう本
当にオンラインだけで申請できるようなものも出
しておりますので、そういったものも参考にし
ていただきながら、是非、紙が必要な人もい
れば、来訪しなければいけない方もいるでし
ょうし、様々選択肢があつていいと思いま
すので、そういったところで、寄り添った支
援をお願いしたいと思います。

この補助金なのですけれども、今年度や昨年度
利用した企業もいると思います。事業者もい
ると思うのですけれども。来年度の利用につ
いては、どのように考えているのでしょうか。

○産業政策課長 令和5年度につきましては、物価
高騰対策という形で、前年と併給が可能とい
う形でさせていただいております。しかしな
がら、その前は、連続年の併給ができない
という形でさせていただいたところでござ
いますので、令和6年度は、令和5年度
の利用された方、事業者は併給はできませ
ん。ただ、令和4年以前の事業者は、利
用できるという形で考えてございます。

○水野あゆみ委員 上限200万円ということで、
金額も上がったから、そういうふうにお考
えになったのかなと思いますが、実際のところ
10万円しか使っていない事業者もいると思
うのです。それ以下の事業者もあつたと思
うのです。そういった方たちの線引きとい
うか、そういうことはしないで、もう一
切、令和5年度使った人は、令和6年
度駄目よということやっていくのでし
ょうか。

○産業政策課長 その事業者の方、様々な事情があ
つて、また本当に小さ過ぎるところである
とか、そういったようなところもあつての
金額の申請だったかというふうに考
えてございます。それを丁寧に経営改善
計画を御相談させていただいて、令
和5年度の申請に至つたというふう
に認識でございますので、そこ
のところは、一定のルールを引
かせていただきたいと考えてござ
います。

○水野あゆみ委員 私が相談受けている人は、や
っぱり手元にお金がなかつたので、まず買
わなければいけない。その後の補助
なので、手元にお金ができたときに
やりたいという声もあつたので、
そういう金額によって分けてあげ
るとか、マックス200万円まで行
ったら、もう駄目よという、
そういった手を煩わせることにな
りますけれども、そういった意味
でも、IT化も進めていただきたい
と思いますが、そういったところ
もいかがでしょうか。

○産業政策課長 IT化というのは、その手
続……。

○水野あゆみ委員 審査とか。

○産業政策課長 承知いたしました。現在、その
IT化のところでは、受付のところは、
オンラインで受け付けているとい
うところでございます。そのIT化
のところの審査の効率化とい
うところで行きますと、来年度、
中小企業診断士の資格者を増
やすという形で考えてございま
すので、そこは効率化を図って
まいりたいと考えてございま

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ます。

○水野あゆみ委員 分かりました。金額のところは、また、公平性という意味であれば、やっぱり金額、もう少し考えていただきたいなと思います。ちょっと要望させていただきます。

次に、24ページの足立の花火の業務委託についてお伺いをいたします。

今回、江東区の事業者を特定したということですが、私、全然知識不足で申し訳ないのですが、区内にはこういった事業者の方というのは、どの程度いるのでしょうか。

○観光交流協会事務局長 区内には花火事業者はございません。

○水野あゆみ委員 分かりました。ということで、江東区の方になったのかなと思いましたけれども、前は1万5,000発で幾らぐらいでお願いしたのでしょうか。

○観光交流協会事務局長 花火の実質価格につきましては、前はほぼ3,800万円程度でございました。

○水野あゆみ委員 分かりました。それで、1万5,000発のうち、不発の花火があったと思うのですが、今年度については、それについては、減額をしてお支払したと思うのですが、その辺、幾らの減額だったのか、また不発だった理由、原因について、ちょっと分かれば教えてほしいのですが。

○観光交流協会事務局長 先ほどの金額については、決定金額でございますので、減額した金額でございます。予算額ではなくて。

それと、原因につきましては、スイッチ、コードのケーブルのショートということで報告を受けてございます。

○水野あゆみ委員 分かりました。それが、重大なミスなのか、あり得ることなのかというのは、ちょっと専門家ではないので分からないのですが、

3,800万円ということで、今回よりかなり低かったのかなというふうに思いますし、それから更に減額というのであれば、ちょっと相手方は大変だったのではないのかなと思うのですが、その辺どうでしょうか。

○観光交流協会事務局長 実際は、払わなかった分を引いてということで、彼らに精査させた中で、円満というわけではないですけども、その請求に基づいてお支払しているの、問題はなかったかなと思っています。

事故の原因につきましては、彼らの方からも報告を受けましたけれども、よくあることではなくて、本当にまれな事故だったということなので、過去4年間やっていないというようなところも、ちょっとそのエラーについてのチェックが気付かなかったのかなというふうに考えられます。

○水野あゆみ委員 花火の成功というのは大前提の話なのですが、やっぱり花火の文化を守っていくという上では、こういった足立区には、事業者さんもないというわけですが、こういった事業者さんを守っていくという意味では、重大な過失でなければ、守っていく必要もあるのではないのかなと思うのです。例えば、1万から1万5,000発の間で契約して、そういったミスがあった場合には、減額しないとか、そういった協議というのはされていないのですか。

○観光交流協会事務局長 今回、上がらなかった点につきましては、事業者の方から申告いただきまして、その分については精査した上で、減額も否認しないということでいただきましたので、減額させていただきました。

○水野あゆみ委員 不発だったにせよ、作って、更に配置して、人件費も掛かっていたと思いますので、私は、やっぱり守っていくという意味では、わざとやったわけではないのですよね、成功は大

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

前提の上で、そういったこともしっかり協議を今後していただきたいと思うのですが、どうなのでしょう。

- 観光交流協会事務局長 やはりその辺の措置につきましては、今後契約書の中にうたうだとか、事前に相手と協議した中で、そういった事故の事項とかを細かく決めていって、契約に結びつけていきたいと考えます。
- 水野あゆみ委員 見ていた方はすごい感動して、そんな何千発も不発だったとか、そういったことは分からなかったわけで、すばらしかったと思うので、是非そういった余地も、区の方でしっかり考えていただければと思います。

最後に、シルバー人材センターについてお伺いします。

先ほどから単価のアップなど、様々議論があるところですが、あだち広報なんかは、区から委託して配っていただいているものだと思います。そういったところで、予算というのを上げれば、もちろん単価が上がると思うのですが、そういう何か、他区の23区の中で取決めというか、何かそういうのはあるのですかね。

- 企業経営支援課長 特にそういった取決めはございません。
- 水野あゆみ委員 区の委託費を上げていただければ単価は上がるのかなと思いますが、先ほど企業経営支援課長もおっしゃっていたとおり、チラシは、区だけではなくて、民間の方とか個人でお願いしたいという方もいらっしゃると思うので、そういった意味では、様々な単価アップをしていかなければいけないのかなというふうに思います。

こちらの7ページに、受託事業費の収益費の計というところでも載っておりますけれども、こういったところで、やっぱり仕事を増やしていくという、受注量を増やしていくということも肝腎

なのかなというふうに思います。その上で、いろいろ努力していただいているのですが、予算特別委員会でも、我が党の委員からも要望がありました。葛飾区の例を引いて要望しておりましたけれども、私も、シルバー人材センター、葛飾区の例を見てみましたら、やっぱり着付けの仕事をいかしましょうとか、本当に字のうまい人は、宛名書きができますよとか、様々、マンションの管理とかあるので、こういったふうになれば、お願いする方も、こういうものがあるのだなというふうに思います。私も、この間、都営団地の役員の方々から清掃委託したいと、そういうものもあります。そういうものも受けてもらえるのかなとか、様々、着付けなんかはいいなと私は思いましたし、子どもへの英語教室だとか、こういうものも見て、こういうものもあるのだったら、ちょっとお願いしてみようかなというものもあったので、この辺、予算特別委員会でもあった質疑ですが、いかがでしょうか。

- 企業経営支援課長 そういった着付けですとか、英語ですとか、そういったことを例えば教えられるような、そういった会員さんがいらっしゃる、シルバー人材センターとして、自主事業みたいな形で実施しているというふうに聞いております。

足立区のシルバーにおいても、過去、何か塾のようなことをやっていたようなこともあるそうです。ですので、葛飾区さんのようにできないわけではないというふうなところで伺っておりますので、そこは、足立区のシルバー人材センターにおいても、前向きに検討していただければいいのかなというふうに思っています。

また、葛飾区のホームページと足立区のシルバー人材センターのホームページ、なかなか古くて、改修も進んでいないというような、そういった状況もございますので、このあたりもまた同時に課

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

題かなというふうに感じております。

○水野あゆみ委員 この機会にどうか、シルバーの皆様と是非ホームページからいろいろ考えていただければと思います。

もう私の周りにも、仕事をリタイアしたけれども、やっぱり充実のために働きたいと、お仕事を探されている方もいますので、そういった方たちが、このホームページを見ただけで、これなら私もできそうだとこのがあると思うので、そういった意味でも、進めていただければと思います。要望させていただきます。

以上です。

○副区長 先ほど花火の御質問が出て、産業経済部長の方から、今年度の優先交渉権者とまだ協議中と、さらっとしましたけれども、打ち上げ発数にかなり差がありますので、今協議を進めていますけれども、このまま契約できるかどうかは、今のところ少し微妙な段階でございます。はっきりしたら、また、御説明させていただきます。

○市川おさと委員 まずシルバー人材センターについてだけちょっとお尋ね申し上げます。

今、平均年齢が77歳ということが書かれておりまして、相当びっくりしました。シルバー人材センター自体は、対象、60歳以上ということでよろしいのでしょうか。

○企業経営支援課長 60歳以上というふうになっております。

○市川おさと委員 そうしますと、高齢者の人口はどんどんどんどん増える一方なわけでありましてけれども、ただ、この、タブレットで資料をずっと一番古いのが、平成30年度からあるわけですよ。平成30年から、会員さんの数が減る一方だというふうに、これなっております。高齢者の数は増える一方なのに、会員の数が減る一方というのは、このシルバー人材センターが働き先として

選ばれていないというふうに思うのですが、そのあたりいかがですか。

○企業経営支援課長 昨今の人手不足というところを受けまして、過去、例えば65歳以上の方は、なかなかハローワークでも仕事が見つからないというような状況から、今もう、70歳超えても、仕事がハローワークを通じて見つかるというような、そういった状況に変わってきております。そういった民間事業者側の事情というの、一つあるのかなというふうに考えております。

○市川おさと委員 今、人手不足とおっしゃいましたけれども、人手不足になる前から、ずっと減りっ放しですよ、僕見た中では。そうすると、シルバー人材センター、今、けち付けているわけではないので、ちょっとシルバー人材センターという働き方が、社会的にそんなに求められていなくなりつつあるのかなという思いはあるのです。だからどうするという話ではなくて、そういう思いがあるのですけれども、それはそちらとしてはどうですか、執行機関としては。

○企業経営支援課長 市川委員おっしゃるとおり、高齢者の方は増えているという中で、会員数はずっと減少をたどっているというところ、事実としてございますので、市川委員おっしゃるところは、当然あるのかなというふうに感じております。

○市川おさと委員 この2ページに書いてあります会員数の推移なのですが、来年度の見込みとして、これ★★で、一気に増やすと。そういう大変勇ましいこのグラフが示されているわけですが、この増やすという根拠というのは一体何ですか。

○企業経営支援課長 こちらシルバー人材センターの思いとして、コロナ前の3,400人というところを、ここ数年目標に掲げて、様々活動しているというところで、昨年も同様に3,400人を

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

目標にしていたのですが、達成できず、ただし、この目標というのは、保っていきたいというような、そういったシルバー人材センターの思いもあって、3,400人というような形になっています。

○市川おさと委員 それは具体的な見込みもないまま、何か思い思いと、今、企業経営支援課長おっしゃいますけれども、そういう根拠がやや弱いのかなという数字をここに勇ましい形で、どんと出して、あ、では、3,400人になるのかなと、これ、見た人、誰でも思ってしまうよ。それだったら、もっと現状を見て、しっかり見て、シルバー人材センターが選ばれないということは、別に私は悪いこととは全然思っていない。そういった高齢60歳以上、60というのは、もうかなり若手のおじいさんですよ、お隣にもいますけれどもね。かなり若手のおじいさんなわけでありまして、相当元気ですよ、見ていてもね。相当元気でありますので、こういう人たちを、シルバー人材センターにだけ流し込むというのではなくて、もっと広い目で、広い視野で、様々な形で活躍してもらおうという、そういった産業経済部全体として、しっかりやってもらいたいという思いがあるのですけれども、シルバー人材センターをてこ入れするというだけではなくて、高齢者ね、高齢者といっても、60歳以上、60歳って相当元気ですよ、今皆さん見て分かるとおり。そういった人たちをしっかり社会の中に参加させてもらう、させていくという話をシルバー人材センターということだけではなくて、産業振興全体の中でしっかり見てもらいたいと思うのですが、そのあたりいかがですか。

○企業経営支援課長 かつて60歳が高齢者というようなところのひとつ位置づけにはなっているわけなのですが、ただし、企業においては、

65歳まで定年があると。また、70歳まで努力義務がというような、そういった形でどんどん進んでおりますので、そういった点も踏まえて、シルバー人材等も踏まえて、そういった高齢者の働き方、生きがいがづくりというようなところは、これからも取り組んでいきたいというふうに思います。

○産業経済部長 先ほど事例で、シルバー人材センターに入会したけれども、正社員としての採用が決まりました。それは本当に心から喜ぶべきだと思いますし、そういった動きが広がっていけばいいと思います。一方で、シルバー人材センターの、こう言ったらあれですけれども、単純労働というのがメインなので、やっぱり徐々にそういったことになってもいいよという人も減ってきているのかなと。なので、シルバー人材センター自身も、やっていくべき仕事、先ほど水野委員からお話ありました、様々な分野に手を広げていくとか、そういうふうなことをして、会員の増強ですとか、仕事の受注ですとか、広げていかなければならないというふうに考えております。そういった思いで、我々シルバー人材センターですとか、就労支援とかしていきたいと思います。

○市川おさと委員 今の部長の丁寧な答弁を聞きまして、私も、あ、シルバー人材センター、しっかり応援していきたいなという思いをまた新たにいたしましたので、しっかり頑張ってもらいたいと思います。

もう一つ、シルバー人材センターの中で、平成30年の分とこの最新の分と比較をしますと、経常収益が平成30年だと、14億8,000億円で、最新の数字を見ると、15億3,000億円で、15億3,000億円というふうに、5%程度伸びているなど。伸びていると思うのですが、ちょっと数字どうです、ちょっと僕の見方が

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

悪いかもしれないのだけれども。

- 企業経営支援課長 15億6,000万円とか、そうですね、5,000万円とか、15億円程度というような形です。この契約額ですとか、このあたりというのは、コロナで落ち込んだときはありますけれども、過去に遡って調べますと、そんなに大きく★★があるわけではないというような形でございます。
- 市川おさと委員 そういった中で、管理費が平成30年が2,900万円で、最終のものを見ると3,400万円で20%近く上がっているというふうな形になっております。要するに、今、企業経営支援課長おっしゃいましたように、経常収益はそんなに増えていないと。その中で、管理費が増えているということは、これなぜなのかなと思うのですけれども、そのあたりいかがですか。
- 企業経営支援課長 一つは、職員の給与ですとか、そういったところ、職員の平均年齢が上がっていったというようなところが、一つ理由としてあるのかなというふうに考えます。
- 市川おさと委員 いや、私、何言いたいかというと、要するに、シルバー人材センターの経常収益つまり、なりだよ、なりがそんなに多くなっていないと。なっていない中で、管理費が今おっしゃったように増えていると。これは見直す余地が相当あるのではないかということをおし上げたいわけでありまして。事前にも、このやり取りしたわけでありましてけれども、やはりこれは、相手が、平均77歳の会員さんたちで、なかなか、ITですか、ITなんかで対応、なかなかできないのかもしれないけれども、そういうことではなくて、やはりこれ公共でやっている仕事等とはいえ、お年寄りの仕事とはいえ、そういった税金を大切に使うという観点から、管理費についても、もうちょっとしっかり見ていってほしいなと

ということなのですけれども、いかがですか。

- 企業経営支援課長 今、市川委員おっしゃったとおり、そういったIT化ですとか、そういったところは、なかなか進んでいないというところがございます。会員さんに対して、何かデジタル化していったところは難しい面があるかもしれないのですけれども、一方で、発注者とのやり取りというところでは、改善できる部分というのは、当然あるかと思えます。また、その業務の流れを見直すですとか、そういった点も、当然改善の余地があるのかなというふうに考えますので、こういった点は、すぐに一気に改善できるわけではないかもしれないのですけれども、改善は図ってまいりたいというふうに思います。
- 副区長 確かにおっしゃるとおり、やはり管理費はしっかりと確認をしていく必要があると思えます。それと、一旦採用した正社員もおりますので、簡単には、続けるという形になりますけれども、予算特別委員会でも話ありました自主事業ですとか、そういったシルバー人材センターそのものが稼ぐような仕組み、それもやっぱりやっていく必要があると思えますので、その辺をシルバーの方と協議していきたいと思えます。
- 市川おさと委員 分かりました。幅広にいろいろやってもらいたいなというふうに思います。
それから、会員さんも、入替えが当然あるわけですから、平均77歳で、いつまでも元気なわけではなくて、これから、今60歳になったばかりの若手のおじいさんたちもどンドンどンドン入ってくるわけですから、しっかりその辺のIT化についても、進めていってほしいなと思えます。
以上です。
- 杉本ゆう委員 幾つかあります。まず、産業経済部の方からお願いします。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

それで、一つは、いつものレシートとキャッシュレスの話なのです。ちょっと予算特別委員会でも聞いたことなのですけれども、改めてもう一度確認ということで、今年度は、民間のペイを4社使うということで理解しました。今まであったようなちょっと問題点、いろいろあったと思うので、その点に関しての改善策というのはしっかりと取っていただきたいというのが、まず1点要望です。

やっぱりこのペイ自体の話、この前、ちょっと予算特別委員会、時間がなかったので、ちょっとあんまり東京ペイの話ができなかったのですけれども、もう、こういうのは、お店の方とかの心の準備であるとか、実際の準備もあると思うので、いきなり変わりますというのも。今年度はその4社でやるのは分かっているのですけれども、時系列的に、まだ全然東京から連絡がないという話だったので、東京ペイの今見ている感じで、この4社、民間のペイでやっている代わりに、東京ペイで同じような企画ができるようなものなのかというのは、現状、どの程度把握していますか。

○産業政策課長 Tokyo Tokyo Pointポイントにつきましては、令和6年の夏に仕組みを構築するというだけしかほぼ出ていないという状況でございます。ただ、いわゆる東京を広域とした地域★★というような、そういったイメージのものだということしか、情報がない状況でございます。

例えば、その域外に税金が流出するとか、限定できるかとかいうような状況もない状況でございますので、申し訳ございません、ちょっと今何ともそのところ申し上げることができない状況でございます。

○杉本ゆう委員 6月ぐらいとって、来年度予算、執行機関の方が組んでいる何とも微妙な時期とい

う認識ですね。では、取りあえず、このキャッシュレスやっただけかどうかわからないですけれども、もし、来年度ではない、その次の年度で、もしやるとしたら、その頃までやったら、民間のペイである可能性が高いという認識でいいですかね。

○産業政策課長 私ども、消費喚起策という形で、物価高騰対策という形で、緊急的にこれをやらせていただいているという側面が一部ございます。どういった経済支援がいいのかという、そもそものところの議論も、丁寧に議論を進めていく必要があるのかなというふうに思いますし、来年度やらせていただく、杉本委員御指摘の4社ペイの実績、この課題の整理も含めて、丁寧に対応してまいりたいと考えてございます。

○杉本ゆう委員 何でこんなところ、細かく今言っているかという、一つは、この前、課題で申し上げた、前のいろいろ問題があった点以外にも、何度も、★★言っていますけれども、小売店の人たちにとって、一番このペイ使うネックなのは、やっぱり手数料の問題だと。ちょっとこの前中国の話をしていただきましたけれども、そういった点で、もし今後もしばらく民間ペイを使わなければいけないのであれば、確かにキャンペーンをやっているときには、お客さんが増えるから、民間の事業者の人たち、喜んでいっているのはあるのですよ。ただ、そうはいうものの、1回そのキャンペーンのときにやってしまうと、あの店はキャッシュレス、Pay Payなりが使えるのねとなったときに、ふだんの何の割引がないときとかに関しても、やっぱりPay Payとかで支払が発生するのですよ。ただやっぱりそのときに、いや、お客さんの量が普通のとくにやっばり使われると、使われるという、言い方が変わりますが、使っていると、やっぱりそれなりの手数料払

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

わなければいけないというふうになると、言い方は悪いのだけれども、やっぱりその民間の事業者の方々、特に小売店とか小さいお店の方々、国、そもそも国の方針のこのキャッシュレス化にどちらかという協力してもらっているという立場ではないですか。この前、中国の話をしましたけれども、国とか行政としてそれを進めるという方向であれば、例えば、そういう力がないところ、極端な例で、足立区も、これは本来国がやる話なので、足立区にやれとは言いませんけれども、例えば、中国の場合は、大手のところからちゃんと手数料を取るけれども、小売店からは、もう手数料取らないから、その代わりにみんな使ってねというそういうスタンスでやっているという話をしたと思うのですが、何かしら、どちらかという、今回、消費喚起策なので、お客さんたちにすごく有利な企画だったのだけれども、そのキャッシュレスについて、小売店、特に、小さい小売店の人たちが何かサポートする何か、具体的に何をしてくれとは言いませんから、何か助けてあげる方向性を考えていただきたいのですけれども、どうでしょうか。

- 産業政策課長 キャッシュレス導入の目的は、来るべきそのキャッシュレス社会に対して、その準備というところと、当然のことが、売上げ、そして、利益の向上というところがございます。杉本委員御指摘の点を踏まえて、検討したいと考えてございます。
- 杉本ゆう委員 さっきAI、否定されてしまったのですが、小売店の方々、2月、3月、ちょっときついと思っているところで、更に手数料もあるのかという感覚がちょっとあるのです。あるいは、AIに出してもらって全然、それは思い込みだとか、頑張って手数料払えよという流れになってしまったら、それはそれで困るのですけれども、

そういった点もあるので、是非考えていただきたいということと、あとレシートなのですけれども、これ別にこれもけち付けるわけではないのですけれども、90周年だったから900円で9枚とやっていたと思うのですけれども、90周年からもだんだん数年たってきて、個人的には900円という値段設定は絶妙でいいなとは思っているのですけれども、基本的にやっぱりこのやり方、例えば、これ、すごく評判なのですけれども、レシート、本当に今回、年末にもやってくれると書いてあって、ありがたいと思うのですけれども、例えば、今後区制100周年の方に、限りなく近くなってきたときに、やっぱり900円のままののかなとか思いながら、思うのですが、どうなのですかね、今後何回もやってくれるということであれば、この900円9枚のままで、区の財政的に、支援していただく、お店の方を支援していただく立場で、もうこれ細かくいっぱいやってもらった方がいいのかなという気もするのですが、大丈夫ですか、お金の方は大丈夫ですか。余計な心配なのですけれども、そこら辺をお伺いしたいのですけれども。

- 産業政策課長 レシート事業の継続の財政的な御心配というところでございますが、これにつきましては、当然のことながら、財政当局と相談しながら進めさせていただくというところでございます。一定程度アナログの需要というのがあるのかなというのが、肌感覚でございます。キャッシュレスの事業よりは、比較的予算が掛からずに済んでいるというところもございますので、そこは財政当局と協議しながら、検討してまいりたいと考えてございます。
- 杉本ゆう委員 正に幾らの設定がよくて、何枚レシート集める、それこそAIを活用していただくと、一番最適な数字が出るのではないかなとい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

う気がするのですけれども、ただ、今、肌感覚としては、ちょっとこんな意見あったので、これ、紹介しておこうと思うのですけれども、この前おそば屋さんが言っていたのですけれども、ふだんだったら600円とか700円ぐらいのそば食べる人がいると。レシートをもらえるのだったら、頑張って奮発して天ぷらそば食べて900円にしようかと、そういう話も出てきて、あと、買物をしていても、お会計780円とか800円で、もう1品買っておこうかとなる、そういった意味での刺激にはなっているので、すごくいいなという点では、本当、思っていますので、この企画は是非続けてもらいたいという意味で、さっき余計な心配だったのですけれども、何回もしてもらいたいという意味で、正に今回、★★で、AIが出ていますので、そこら辺を使って、最適な数字、出してもらおうと、いっぱいできるのかなというふうに思っています。この点は要望で大丈夫です。

あと、観光交流協会で、ちょうど後半最後2日間、局長がいらっしやらないタイミングだったので、予算特別委員会のとき。そこでも言った話とちょっとかぶりつつなのですけれども、シティープロモーション絡みの話で、千住400年の話とか、千住の酒合戦の話、この前、予算特別委員会でさせていただいたのですけれども、シティープロモーションの方からの返答では、観光交流協会と一緒に協議していきますという答弁だったので。一方で、シティープロモーション全体のホームページがなくて、これからお客さん呼ぶのに、どのサイトを見たらいいのか分からないという話をさせていただきました。ただ、現状、今のところ、そういうのを探そうと思ったら、多分、検索して当たるのは、足立観光ネットになると思うのです。なので、そこら辺の400年も来年、400年が来年なので、あと、今回インバウンドの話

とかいろいろ出てきましたけれども、別に、観光交流協会の方が、シティープロモーション統合しろとかそういう話ではなくて、せっかくなので、所管、縦割りではなくて仲よく横のつながりでいろいろ協力して、より充実させてほしいなと思うのです。もうあと1年しかないので、そこら辺の協議していく計画とか、そういうものをちょっと教えていただきたいのですけれども。

○観光交流協会事務局長 計画という形ではないのですけれども、既に民間の団体とかのアプローチとかも始めていますので、是非、令和6年中には、令和7年に向けてということで、様々な団体や様々な資源を活用しながら、400年の機運を盛り上げると。年の半分ぐらい進んだら、イベント等をもっと仕掛けていきたいなと思っていますので、そのときは予算取りについても、また改めてお願いするかもしれません。

○杉本ゆう委員 ちょうど予算特別委員会のときに、正に区長本人から答弁いただいたのですけれども、400年に関して、商工会議所もいろいろやっているということなので、その観光とシティープロモーションと商工会議所と、3者があって、それなりに歩調を合わせてやっていくことが一番重要だと思うので、それこそ3者がそれぞれ何かいろいろPRしていたら、お客さんからどこ見たらいいのという話になると思うのです。そこら辺、何か一括でできるものがあるといいなというふうに思っているのが、今回の正に事業計画もそうなのですけれども、この前の予算特別委員会のときに、我が党のかねだ委員が、やっぱりガイドブックの話がされたのですよ。実は、個人的にも、前から本会議とかでも言って、なかなか、別にこれ愚痴ではないです、なかなか聞いてもらえないなと思っていたところで、有名なガイドブックとコラボしてやったらどうだというのも、実は2年ぐらい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

前から、何年か前から言っていると。そうしたら、墨田区に、一番あれだけ知名度のある地球の歩き方とコラボしたという、もともと提案してした企画をもう先にやられてしまったという話があるので、何度も言っていますけれども、大千住マップがあるのは分かるのだけれども、千住に来てもらった人が、その次にまたやっぱりそのほかの違う地域、西新井だったり、綾瀬だったり、竹の塚に人が動いてもらうような、1冊で分かるものが絶対必要だと思うのです。そこ事業計画に今後盛り込んでもらいたいのですけれども、どうですか。

○観光交流協会事務局長 先ほど予算特別委員会の中では、花小旅というようなものをリニューアルアップしてということで、もうこの3月には、そちらの方が刷り上がります。そちらをきっかけとしまして、やはり千住エリアからほかのエリアに足を運んでいただくとか、若しくはインバウンド向けの情報を掲載したような新しいしつらえをつくるであるとか、その辺も内部議論をしながら、第2弾に向けて、つくり上げていきたいと考えてございます。

○杉本ゆう委員 分かりました。ちょっと先日、週末、土曜日だったか日曜日だったか、上野御徒町辺りを歩いていたのですけれども、もうかなりオーバーツーリズムぎみになっていると。いつも思うのですけれども、上野御徒町の辺りにある飲食店だと、ほぼ北千住で用は足りるのですよね。であるとすれば、やっぱりそこら辺のPRが必要で、向こうオーバーツーリズムぎみになって、多少減ってくれる方がありがたい、こっちは多少増えてくれた方がありがたいという状況だと思うので、正に、それは全然別件ですけれども、この千住客引き防止とかそういうものをやるのであれば、そこに外からのお客さん呼べる、そのポテンシャルと思うのですけれども、そこら辺、ちょうど向こ

うが人があふれて困っている地域があるところで、この前、ほかのところの観光交流協会と打合せしたらどうだという意見があって、誰だったかな、出ていたと思うのですけれども、そこら辺、台東区とか、そこら辺の区にどうかという話してみませんか。

○観光交流協会事務局長 予算の中で、私、答えましたとおり、墨田の観光交流協会であるとか、台東の観光交流協会の事業にも、私、参加したりしています。ですから、そういった横連携、事務局長同士で取りながら、ちょっと打診しながら、そのエリアで何ができるのかという、早速その辺の議論をちょっとつくり上げていきたいなと思っていますので、それについては、またこの場で御報告させていただきます。

○杉本ゆう委員 観光の方は以上で大丈夫です。

今日話題のシルバー人材センターなのですけれども、前々から思っていたのですけれども、今回の予算特別委員会の中でも、登録金1,000円取っているのに、お仕事がないかもしれませんという点について突っ込みが入って、確かに、その書き方なんか若干、見方によっては、何かうさんくさいなと思うところもあるかもしれないのですけれども、ただ、1,000円はもちろん分かるのですけれども、いろいろ事務経費、その他掛かるから1,000円もらっているというのは分かるのですけれども、であるとすれば、やっぱり登録してくれた人たちが、何かしらのお仕事にありついてももらいたいという気持ちはあるので、お仕事にありつける率を上げる努力はしなければいけないと思うのです。さっき、ホームページが古いからというお話があったのですけれども、僕もすみません、そのとおりだと思っていて、お仕事を依頼する方が人が、多分イメージ湧きづらいサイトになっているのだと思うのです。どういう仕

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

事で、具体例書いていますよ、何か事務作業、単純作業、庭の剪定とか書いていますけれども、民間のサイトでいろいろあるではないですか、例えば、フリーでやっているイラストレーターさんがいるとか、技術を持っている人がいる。例えば、具体名はあまり出してよくないのかもしれませんが、ココナラというサイトとか、クラウドワークスとかいうものがありますよね。ああいうものを見ると、自分がやってほしい仕事、例えば、自分が選挙前に政治活動するときに、チラシを作ると。僕は全然絵心がないので、イラスト誰か書いてくれる人いないかなと思ったとき、たまたま近場の友達がいたので、そこで頼んで済んだのですけれども、そういうものとか、さっき言ったように、御高齢の方でも、イラスト描ける人であるとか、そういう得意分野があると思うので、うちの人材センターでこういう人がいます、これができますというのが、お客さん、依頼主の方から、ポスティングとか、そういう単純作業以外のところも含めて、できると書いておいてあげると、お客さんの方、依頼主の方も依頼しやすいのかなと思うのです。システムの改修を多少しなければいけないとか、そういうものが出てくると思うのですけれども、どうですかね、サイトがとにかく使いづらいなというのがあるのですけれども。

- 企業経営支援課長 今、杉本委員おっしゃったとおり、どういったことが発注できるのかということころをより分かりやすくするというのは、ホームページ含めて、またチラシも含めて、重要なことですので、そういうところは、前向きに取り組んでいこうということでお話しさせていただきます。
- 杉本ゆう委員 これ最後です。今度最後、環境部
環境学習の今後の展開のところ、出前授業と

書いてあるのですけれども、それと併せてなのですが、出前授業、すごいいいなと思うのですけれども、この出前授業でやるときの企画というのは、環境部の方で考えているのか、あるいは区内の小・中学校の理科の専任の先生、専科の先生がいますよね、そういうところからある程度リクエストというのは、反映しているものなのか、その点教えていただきたいのです。

- 環境政策課長 小・中学校向けの出前講座でございますが、メニュー一覧というのを環境部の方で御用意をして、その中から学校に選んでいただくという形を今、取っているところでございます。
- 杉本ゆう委員 そのメニューは、結構バラエティーというか、種類は結構いろいろ選べる感じなのですかね。
- 環境政策課長 例えばですが、こちらに書いてあるように、気象予報士と一緒に大雨に備えようとか、あと100年後の天気予報とって、気象予報士さんと呼んだりとか、あと海ごみについて学ぶ、海ごみの落語とか、メニューに関しましては、バラエティーに富んでいるかなというふうに感じております。
- くぼた美幸委員長 杉本委員、環境学習、所管事務でちょっと終わっちゃっている。
- 杉本ゆう委員 環境学習、最初展開のところはやっていないですよ。
- くぼた美幸委員長 やっていなかった、大丈夫。
- 杉本ゆう委員 所管事項のところに入っていましたか。
- くぼた美幸委員長 では、入っているのかな。
- 杉本ゆう委員 すみません、では、やめます。
- 山中ちえ子委員 もう時間もないので、そんなに質問できないのですけれども、一つは、シルバー人材センターなのですから、今、いろいろお話もあった予算特別委員会でも触れられた、会費

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

の件なのですけれども、7ページで、公益目的事業会計法人会計のところの受取会費のところをちょっと説明してほしいのですけれども、この2種類あるというところだったり、比較増減は配分金、拠出金の方はあるけれども、会費の方はないという話、令和5年と6年度比較、ここはどういう、この拠出金についてもどういうものか。

- 企業経営支援課長 7ページ、(6)の受取会費のところ、比較増減ゼロとなっております。これ、先ほどお伝えしたとおり、3,400名会員が集まるという前提の下、年会費1,000円掛けてというところで、令和5年度も同様の目標達成とした関係で、令和5年度との比較ではゼロとなっております。

7番の拠出金受取会費というところがございます。こちらが、概要で、支所運営費、経費に充当とあるのですけれども、会員さんが働いた配分金のうち、2%分を拠出金というような形で充てて、それは、五つある支所で、例えば、働いている会員さんたちの支所会費というのですか、支所運営経費に充てているというような、そういったものになっております。

- 山中ちえ子委員 先ほどもあったように、シルバー会員が3,400人を想定していると言いますが、大体3,000人ぐらいの中で、就業がしっかり行き渡っているといった率が少し低いということで、仕事をちゃんと取ってくるというか、やはり先ほど葛飾の例も挙げられましたが、水野委員が。こういった努力が隣の区でできているということであれば、どうなのかなと。この拠出金なんかで、やはり会費とともに、毎回、取られているわけです。なので、やはり、そういうことからいけば、しっかりと仕事があるような形にしていく努力が必要なのだと思うのですけれども。

○企業経営支援課長 おっしゃった拠出金受取会費については、実際に働いて配分金を受け取る方から、配分金の中の2%という形なので、実際その業務というか、配分金、お仕事ができていない方については、拠出金は取られていないというような状況でございます。

業務拡大については、先ほど水野委員からもお話がありましたとおり、積極的に、葛飾の方でやられていて足立区にできていないというのは、そういったところでございますので、少しずつでもできるような形で、進めていきたいというふうに考えております。

- 山中ちえ子委員 やはり会費が、そうやって取られているという中で、今回のインボイスの消費税分をちゃんと区が援助してほしいということだったり、こういった趣旨の陳情も、先ほど審議しましたけれども、こういったところにやはり表れているのだと思うのです。なので、しっかりとこの件では向き合っていってほしいと。会員さんが分からない、こういった拠出金、配当金もらっている会員さんからの拠出金だったり、そうではない会員さんが会費を取られていたりといったところが、ちゃんと伝わっていないといったところもありますし、しっかり伝えていかなくはいけませんことだと思えます。その点どうでしょうか。

○企業経営支援課長 各会員さんに対して、そういった情報の提供というところは、非常に重要だと思いますので、センターの方にお伝えしたいというふうに思います。

- 富田けんたろう委員 すみません、端的に質疑をします。

産業経済部の5ページなのですけれども、緊急経営資金について、条件緩和が今回行われるというふうに理解をしました。令和6年度の利用条件のところを見ると、利益率と書いているのですけ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

れども、利益率というのは、これはいわゆる売上げ総利益、粗利なのか、営業利益なのかどちらになるのでしょうか。

○企業経営支援課長 どちらも含んでいたかと思えます。申し訳ありません。

○富田けんたろう委員 恐らくそうかなと思っていて、なぜなら、今やっている特別借換えの方も見ると、両方粗利と営業利益率が出ていたので、どっちでもいいよみたいな書き方になっていたのが、多分そういうことなのかなと思うのですが、そうすると、今までやってきた緊急経営資金と特別借換えが、もう条件なんか、ほぼ変わらなくなってきてしまっているなという気はしているのです。もともとは緊急経営資金の方が、緩くて、条件が。特別借換えは、もうちょっと厳しいというような認識だったのですけれども、その条件が、若干似たりよったりになってきていて、もっとスワットの分析シートさえ出せば、特別の借換えを受けられるみたいな。信用保証料が掛からないというような認識なのですけれども、そういうあれで間違っていますか、合っていますか。

○企業経営支援課長 ほぼ同条件として、一緒になってきているというのは、富田委員の認識のとおりでございます。むしろ合わせに行ったというところでもございまして、新規での受付というところが、今回令和6年度から条件変えさせていただいて、新規受け付けたところで、今度、借換えするのを今まで通常の借換えは、信用保証料の方で全額補助なかったのですけれども、それとは別のものとして、特別借換えを昨年8月から実施させていただいたというところでございます。

○富田けんたろう委員 理解しました。合わせに行っているということで、特にその保証料のところですよ。理解しました。すみません。

あと、次に、キャッシュレスの還元事業につい

てですけれども、目的は先ほど課長おっしゃいました、来るべきキャッシュレス社会への備えもあると。いろいろな目的があるかと思えます。そういう目的を達成する上では、事業者側と消費者側、両方の視点で、改めてこの事業を考える必要があるかなというふうには思っている中で、アンケートの結果について少し触れたのですけれども、11ページですか、スマートフォン決済導入率、これは、事業者側の導入率ということかと思いますが、56%という数字に、区としては、この数字をどう捉えているのか、満足しているのか、そのあたりを教えてください。

○産業政策課長 正直私も、もう少し上がるかなというふうに考えていたところが率直なところでございます。といいますのも、令和3年から令和4年のところでは、15ポイント上がったというところでもございますので、そういった経過がございまして。

○富田けんたろう委員 そうですよ。15ページですか、アンケート結果からの考察のイですか、そちらには、ほぼ横ばいとなり、導入店舗が固定化してきたという考察、考察というか事実だと思うのですけれども、記載があります。だから、そこをどう今後捉えていくのか、要は、何%を区として目指していくのかということ、また来年度、これあるかと思うのですけれども、やる際に、是非庁内で議論をしていただきたいなというふうに思います。これ、定量的にですね、思います。

あと、3月11日から、TOKYO元気キャンペーンという10%還元のキャンペーンが始まりました。私も使っています。本当に改めて思うのが、消費者側ですけれども、こういうペイだったり、キャッシュレスというのは、使っている方と使っていない方の格差というのが、どんどん広がってきているのではないかなというふうに思っ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いるのです。そのあたり、区は、これは消費者側の視点で結構ですけれども、どのように捉えているのか教えてください。

○産業政策課長 正にそのような格差をなくすべく、私どもキャンペーンを打つときに、サポート窓口をキャンペーンの前のところからやらせていただいているというところでございます。

○富田けんたろう委員 そうですよ。では、その格差を本当に解消すべきなのかとか、そういった議論も多分当然出てくるかと思うので、ちょっとそこら辺は、改めて、これも改めてなりますけれども、庁内で議論していただきたいと思います。

最後に、足立の花火のプロポーザルについて伺います。

この点数があるページがあったかと思うのですが、何ページかな。26ページ。評価項目5番の社会的貢献度が、残念ながら配点2.5点に対してゼロ点ということになっていますが、これ本当にゼロ点だったのでしょうか。

○観光交流協会事務局長 この評価の指標にあります、例えば、ワーク・ライフ・バランスだとか、国の方の認定しているえるぼしであるとか、みんなとか、正にこういうところを取られていない企業が多くございまして、また、工場の形態としては、山間部だとか非常に安全面の配慮からなると、とても職人かたぎの業態が多いものですから、ここに該当するものがなかったというところでございます。

○富田けんたろう委員 本当に素直に評価をさせていただいたというふうに理解をしました。ありがとうございます。

以上です。

○くぼた美幸委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○くぼた美幸委員長 なしと認めます。

————— ◇ —————

○くぼた美幸委員長 次に、その他に移ります。

○市川おさと委員 その他なので簡明に行います。

新潟県魚沼市及び長野県山ノ内町との友好自治体提携40周年に係るバスツアーの話なのですけれども、これが参加者数が満たなくて、3本のうちの2本が中止になったという報告でありました。

これ、事前にも言ったのですけれども、僕、車椅子使っている障がい者なのですけれども、そういった人が、この事業、使えるのかどうかということなのです。使えないとは書いていないけれども、普通、僕みたいな障がい者だと、募集、申し込むのもちゅうちょするという場面も非常にあるわけで、これ、区の事業でありますので、そういった視点も必要だろうということは事前に申し上げました。特に、例えば、この中で、奥只見港の遊覧船というのがあって、これは、奥只見のホームページを見ると、はっきり書いていないのだけれども、例えば僕も行ったことあるのですよ。何で行ったかという、遊覧船に乗るのに長い階段があるのだけれども、車椅子の人が、おぶってやってもらえるのですよ。それは事前に僕も知っていたから、いきなり行ってやってもらったということなので、この辺の話というのは、旅行会社がやっているのでしょうか。旅行会社は全部知っています。旅行会社は全部知っていますから、旅行会社とよく話をしながら、このツアーは、そういったスペシャルなサポートが必要な人も対応可能ですということをあらかじめ通知するなりして、そういう人は、例えば、申込みの何月何日までの何かその1週間前までに言ってくださいと、例えば車いすでもそうだけれども、視覚障がいでも、特別にガイドヘルパー付けようかとか、いろ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いろな話があると思うのですよね。多動の人だったら、ちょっと面倒見る人を付けようとか、そういうことも、いろいろなことができると思いますので、旅行会社とよく話をしながら、可能なものについては、スペシャルなサポートが必要な人についても、はっきり受け入れるということを事前に広報などでも、通知なんかきちっと言って、そういう人たちも、僕も含めてですけども、僕も行くかもしれないけれども、是非、やってもらいたいな。これ、切なる願いでありますけれども、いかがでしょうか。

- 観光交流協会事務局長 正にユニバーサルデザイン、バリアフリーの観点が必要なことだと思いますので、今後、採択された事業者とは、そういった調整も踏まえながら、また区の広報でも、その辺を表記できればと考えます。
- 山中ちえ子委員 私から、あだち花小旅ガイドブック改訂版の作成のところの情報連絡の件なのですけれども、とてもいいなと思っていて、それで、新たなコラムを掲載しているということで、荒川放水路通水100周年とかあるのですけれども、こういったことというのは、どういうふうに乗せているのですか。
- 観光交流協会事務局長 正に荒川100年という記念的なものなので、その経緯であるとか、具体の例で言うと、青山先生の話だとか、そんな掘削の初歩の歴史にたどったところをちょっとコラム化させていただきました。
- 山中ちえ子委員 本当に足立の伝統だったり、その歴史だったりといったところをこうやって観光に結びつけて取り組んでいくというのは、本当に大切なと思うのです。

それで、前回、しょうぶまつりで、グリーンスローモビリティを公園でやっていたのですけれども、とてもよかったのです、反響が。こういった

交通の問題もいろいろな深刻な状況の中で、やはり観光交流協会と結んでやる取組というのもの、本当に大切なのかなと思うのですけれども、今回そういったことが、連携してできるようなことも期待してしまうのですけれども、今後はどういった企画で。

- 観光交流協会事務局長 たしかしょうぶまつりでグリーンスローモビリティのデモンストレーションをやらせていただきました。効果測定1回きりではなかなか難しいと考えますが、コスト的なものであるとか、あと公道を走る上での安全面であるとか、多大なやっぱりリスクがありますので、閉鎖的な安全な空間であれば可能かなと思いますけれども、その辺、コストと安全性を重視しながら、考えていきたいなと思っています。
- 山中ちえ子委員 杉並区でも、やはり、観光と駅を結んでといった実験をやっている、足立でも観光を目玉にして、にぎわいをつくっていくといったところも、予算特別委員会の中でも、何度も各委員から出されていました。なので、観光交流協会も連携して、そういった大切なところを担ってほしいと思いますけれども、交通がそのネックだと思うのです。なので、是非是非桑袋ピオトープもありますし、やはりその中に大鳥神社もありますし、その中で、元淵江公園もありますし、生物園もあるわけですよね。なので、是非、横断的にやってほしいと。観光交流協会としては、桜並木も綾瀬川にできましたし、そういったところではどうでしょうか。
- 観光交流協会事務局長 恐らくグリーンスローモビリティを使うとなると、非常にスピードが緩やかなので、そこを考慮した上でのスポットを結ぶような交通となりますね。今、おっしゃられたところを仮に結ぶとなると、本当に移動だけでも時間で1時間以上掛かるような懸念もありますし、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

距離が延びれば延びるほど、先ほど言った交通道路使用の安全面のところもクリアしないとならないので、そこが大きな課題かと考えます。

○山中ちえ子委員 是非、担当課とつながって、引き続き、検討はして行ってほしいと思います。

○くぼた美幸委員長 他に。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○くぼた美幸委員長 なしと認めます。

それでは、委員長より委員の皆様申し上げます。

本委員会における議論を更に深めるために、視察の実施について正副委員長において協議をいたしました。

つきましては、令和6年4月16日の火曜日午後、台東区の家庭ごみ戸別回収の取組について視察を行いたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○くぼた美幸委員長 御異議ないと認め、さよう決定いたしました。

視察の詳細につきましては、正副委員長に御一任いただき、後日、各委員宛てに通知をすることといたしますので御了承願います。

では、以上で産業環境委員会を閉会いたします。

午後零時15分閉会